

10 WinShare

この章では、ClientManagerのリモート操作機能を提供するWinShareの操作方法について説明します。ClientManager Ver4.0には、WinShare Ver3.0が添付されているものと、WinShare Ver4.0が添付されているものとがあります。2002年7月にリリースしたものと2002年9月にリリースしたものにはWinShare Ver3.0が、2003年1月以降にリリースしたものにはWinShare Ver4.0が添付されています。WinShareのバージョンにより説明が異なる部分については、その旨を記載しております。

10.1 WinShareについて

10.1.1 WinShareとは

WinShareは、インターネット接続されているクライアントPC(リモートPC)のディスプレイに表示されているイメージを、マネージャまたはGUI(オペレーションPC)のディスプレイに表示します。

その画面イメージをとおして、リモートPCを手元のマウスやキーボードで簡単に遠隔操作することができます。

リモートPCの遠隔操作が可能となることで、遠隔地のPCの管理や保守、ユーザへの操作手順の説明、教育など、幅広い応用が可能です。

10.1.2 画面構成

WinShareを起動すると、次頁のような画面が表示され、いろいろな作業に使うボタン、メニューが表示されます。

* メニュー

WinShareを使用するときに有効な機能を格納しているメニューです。

* ツールバー

WinShareを使用するときに有効な機能をすばやく実行させるためのボタンが集まったツールバーです。

* キャンバス

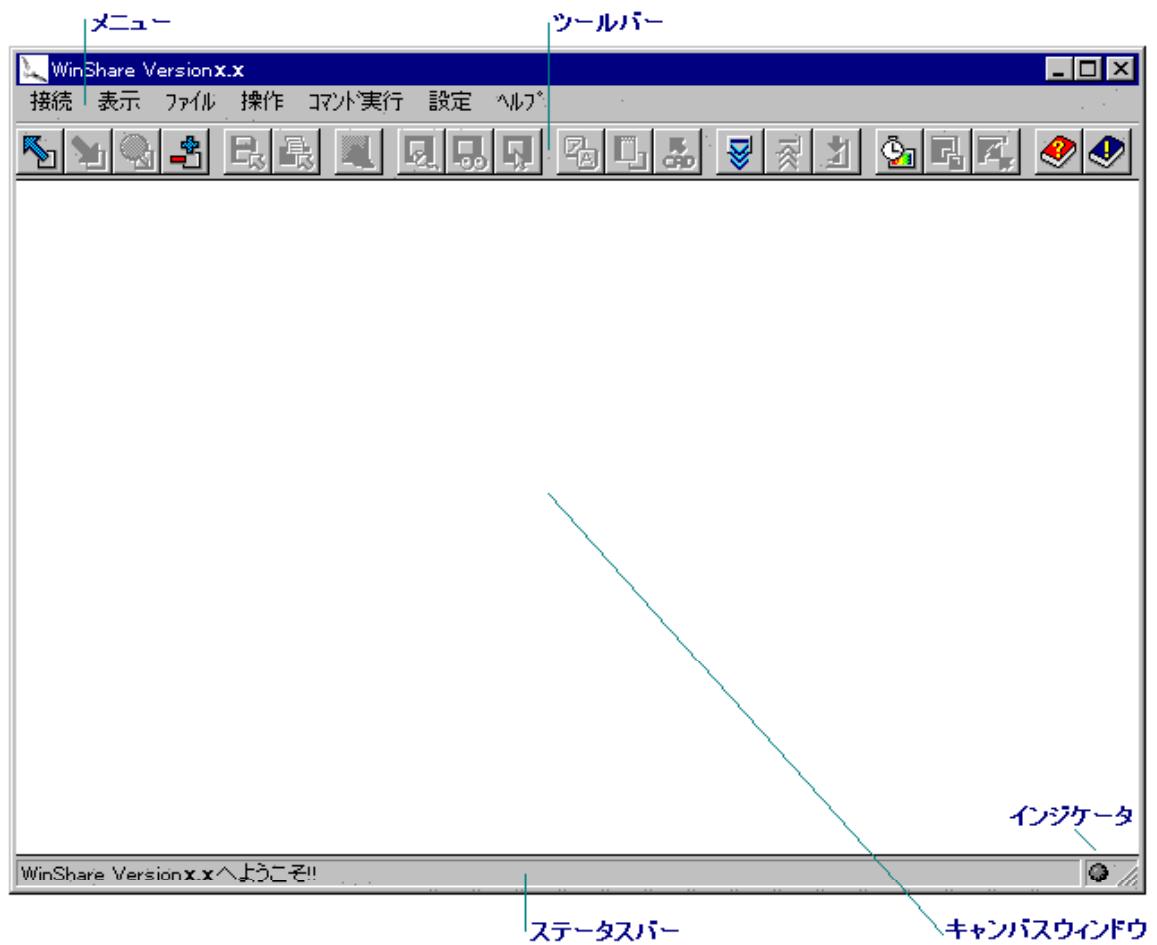
リモートPCの画面イメージが表示されるウィンドウです。

このウィンドウに対してマウスやキーボードでリモートPCを遠隔操作します。

* ステータスバー

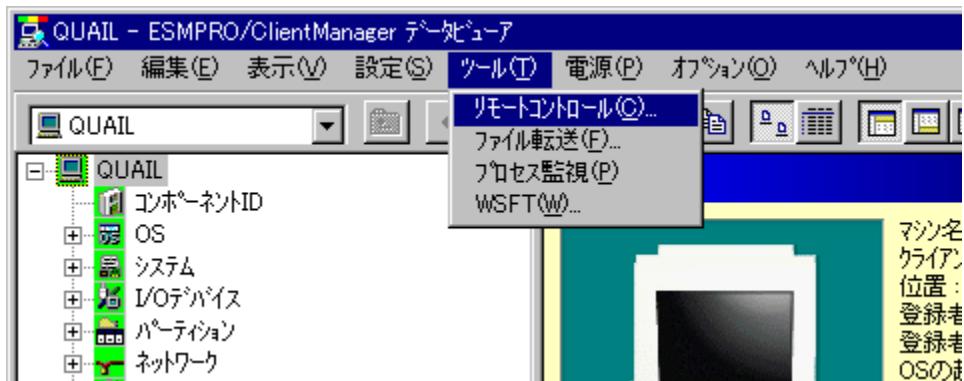
WinShareの接続状況等の情報を表示する領域です。

ステータスバーの右端に、リモートPCから送られてくるデータの受信状況を表すインジケータも表示します。



10.1.3 CM データビューアからの WinShare の起動

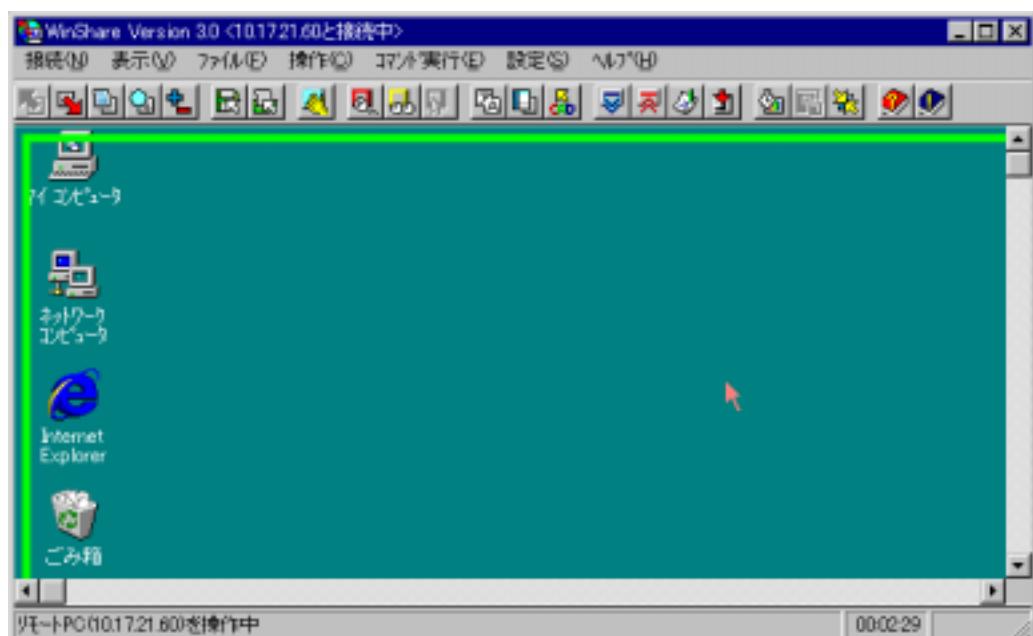
1. CMデータビューアを起動し、「ツール」メニューの「リモートコントロール」を選択してください。「リモートコントロール」ダイアログボックスが開きます。



2. 「リモートコントロール」ダイアログボックスで<OK>ボタンを押すとWinShareが起動されます。データビューアを起動しているシステムと、クライアントシステムとの間が転送速度の遅い回線で接続されている場合「画像データを圧縮する」チェックボックスをチェックし<OK>ボタンを押してください。

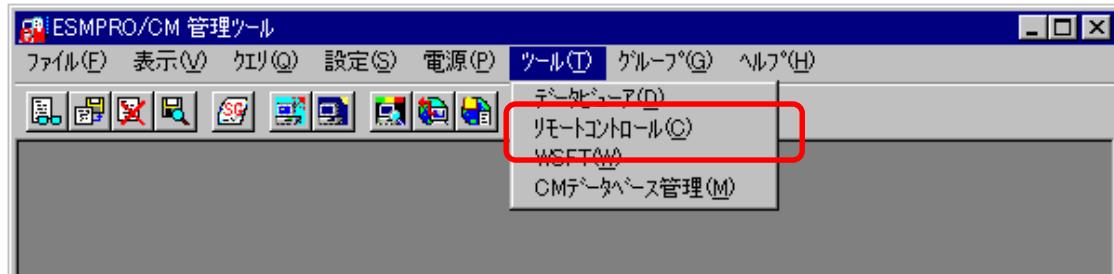


3. マウス、キーボードを使用しクライアントをリモートから操作することができます。

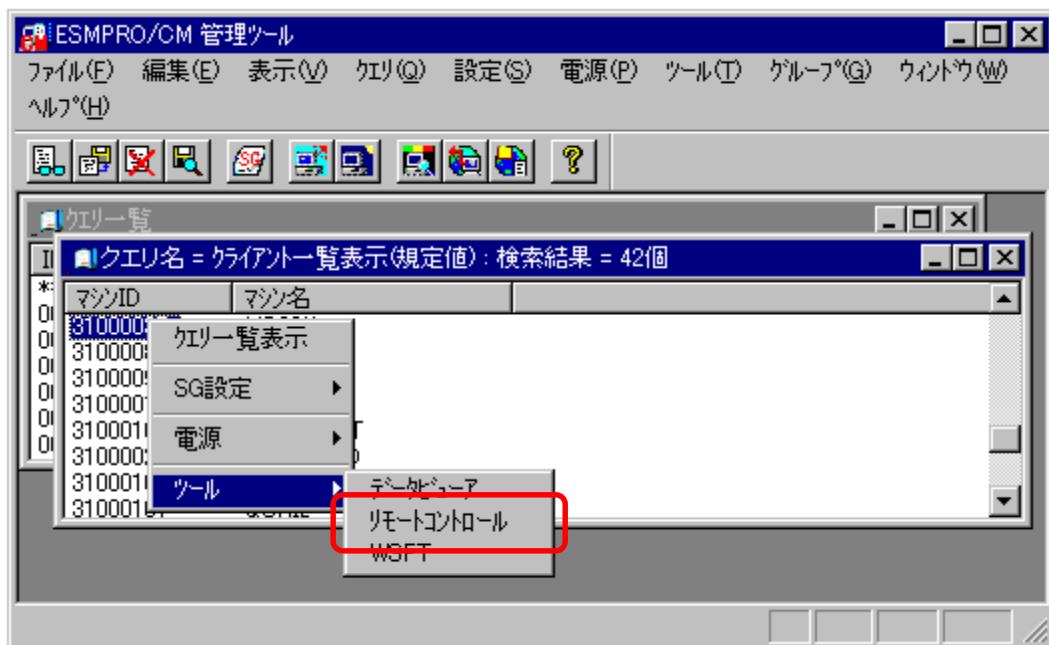


10.1.4 CM 管理ツールからの WinShare の起動

- 「CM 管理ツール」を起動し、「ツール」メニューの「リモートコントロール」を選択します。WinShare が起動します。

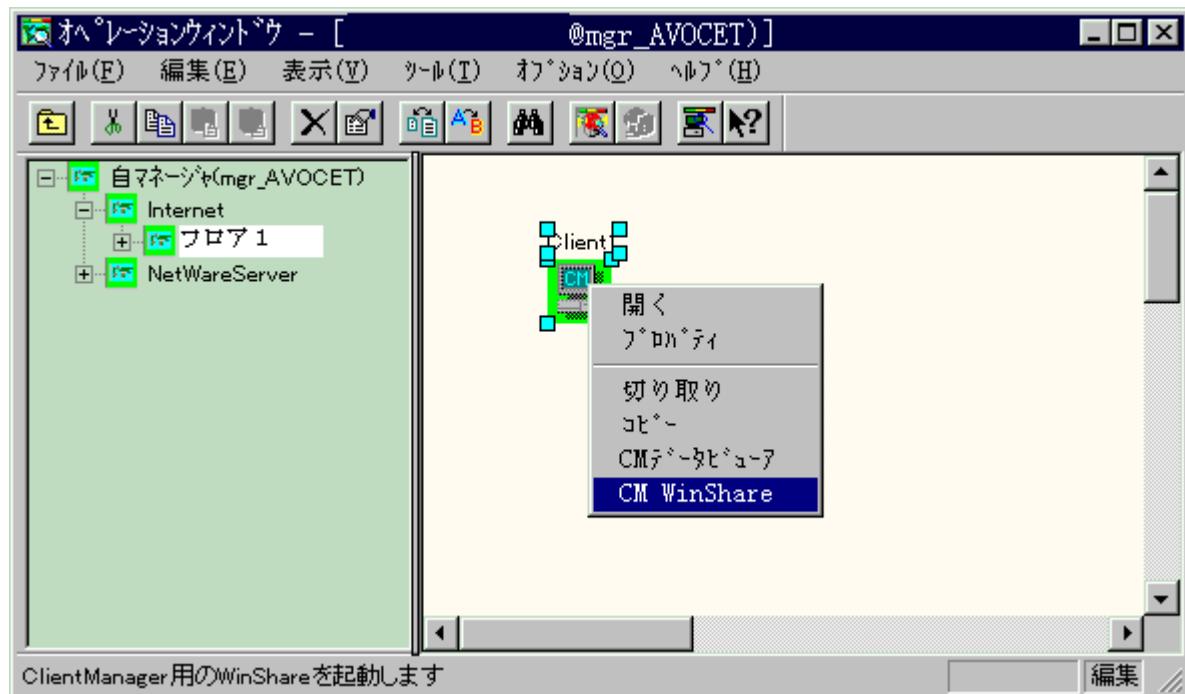


- クエリの実行結果においてクライアントを選択して WinShare を起動することもできます。複数クライアントを選択した場合には、複数WinShareが起動します。



10.1.5 オペレーションウィンドウからの WinShare の起動

- 「オペレーションウィンドウ」を起動し、ClientManagerで管理しているクライアントPCのアイコンを選択し、マウスの右ボタンをクリックし表示されるポップアップメニューから「CM WinShare」を選択することにより、WinShareを起動します。



10.2 WinShare の操作

10.2.1 メニュー一覧

以下に示すメニューがあります。

メニュー		説明
接続	接続	リモートPCと接続します
	切断	リモートPCとの接続を切断します
	接続履歴表示	リモートPCとの接続履歴を表示します
	リモートPC情報表示	接続中のリモートPCの情報を表示します
	リモートPC接続先管理	接続するリモートPCを登録します
	終了	WinShareを終了します
表示	ツールバー	ツールバーの表示/非表示を選択します
	ステータスバー	ステータスバーの表示/非表示を選択します
	インジケータ	インジケータの表示/非表示を選択します
ファイル	保存	リモートPCの画面イメージをBMPファイルに保存します
	印刷	リモートPCの画面イメージをオペレーションPC側で印刷します
操作	最新画面取得	最新のリモートPCの画面イメージを取得します
	リモート操作抑止	リモートPCでの操作を抑止します
	リモート操作監視	オペレーションPCからの操作を抑止します
	通常操作	両方のPCから操作できます
	IME切り替え	リモートPCのIMEを切り替えます
	スタートメニュー表示	リモートPCでスタートメニューを表示させます
	CTRL+ALT+DEL送信	CTRL+ALT+DELを送信します
コマンド実行	ローカルコマンド実行	オペレーションPCで登録コマンド実行します
	リモートコマンド実行	リモートPCで登録コマンドを実行します
	NAVIPAD実行	リモートPCでNAVIPAD(透明ボード)機能を実行します
	リモートシャットダウン	リモートPCをシャットダウンします
設定	動作設定	動作を変更します

	フルスクリーン表示	PCの解像度が一致したときフルスクリーンで操作できます
	オートズーム表示	ウィンドウの大きさに表示の縮尺を合わせます
ヘルプ	目次	オンラインヘルプの目次を表示します
	バージョン情報	WinShareのバージョン情報を表示します

10.2.2 「接続」メニュー

「接続」メニューはリモートPCとの接続に必要な機能や接続の状態を管理する機能が集まったメニューです。

「CMデータビューア」、「CM管理ツール」、「統合ビューア」から利用する場合には、この「接続」メニューは、切断のために使用します。これは、「CMデータビューア」、「CM管理ツール」、「統合ビューア」から起動する場合には接続先は選択済であり、選択先に自動的に接続するためです。

10.2.2.1 「接続」-「接続」

「接続」は、リモートPCと接続することができます。

「接続」項目(または、ボタン)を選択すると、以下に示す接続ダイアログが表示されます。

●リモートPCと接続するためには

1) 接続するリモートPCのホスト名またはIPアドレスを「リモートPC名」ボックスに入力します。

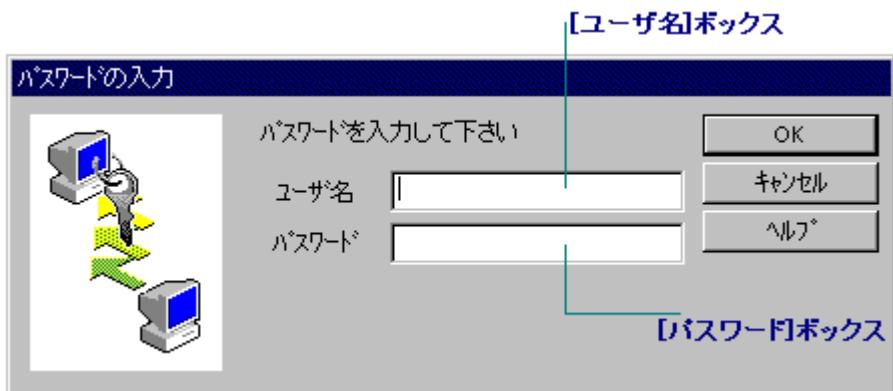
2) 必要に応じて「転送方式」チェックボックスをクリックし選択します。

「圧縮転送を行う」にチェックした場合、リモートPCから送られてくる画面イメージデータはすべて圧縮されます。圧縮は、公衆回線やISDN回線等のように転送速度が遅い回線で有効になる転送方式です。

3) 入力したリモートPCに接続する場合は<接続>ボタンをクリックします。接続を中止する場合は<キャンセル>ボタンをクリックします。



- 4) リモートPC側で「パスワード認証を行う」設定になっている場合は、次に示す「パスワード入力」ダイアログが表示されますので、ユーザ名とパスワードをそれぞれ「ユーザ名」ボックスと「パスワード」ボックスに入力してください。



入力後、接続する場合は<OK>ボタンをクリックします。接続を中止する場合は<キャンセル>ボタンをクリックします。

- 5) 入力したユーザ名とパスワードの認証が成功すると、キャンバスにリモートPCの画面イメージが表示されます。

●すでに登録されているリモートPCと接続するためには

- 1) 「リモートPC接続管理」項目で登録したリモートPCと接続するためには、「リモートPC一覧」ツリービューから、接続したいリモートPCを選択して、リモートPC名をダブルクリックします。

2) リモートPC側で「パスワード認証を行う」設定になっている場合は、次に示す「パスワード入力」ダイアログが表示されますので、ユーザ名とパスワードをそれぞれ「ユーザ名」ボックスと「パスワード」ボックスに入力してください。

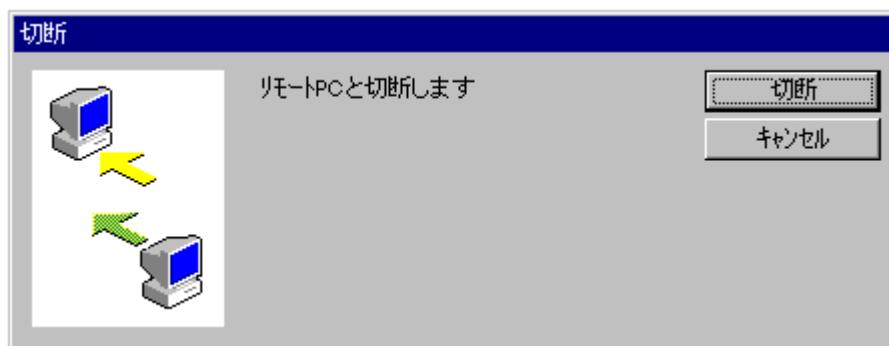
入力後、接続する場合は<OK>ボタンをクリックします。接続を中止する場合は<キャンセル>ボタンをクリックします。

3) 入力したユーザ名とパスワードの認証が成功すると、キャンバスにリモートPCの画面イメージが表示されます。

10.2.2.2 「接続」－「切断」

「切断」は、リモートPCとの切断することができます。

「切断」項目(または、ボタン)を選択すると、以下に示す切断ダイアログが表示されます。



● リモートPCと切断するためには

1) 切断したい場合は<切断>ボタンをクリックします。切断を中止する場合は<キャンセル>ボタンをクリックします。

10.2.2.3 「接続」—「リモートPC情報表示」

「リモートPC情報表示」は、リモートPCとの接続情報やリモートPCのシステム情報、リモートPCのWinShareのバージョンを表示することができます。

「リモートPC情報表示」項目(または、ボタン)を選択すると、以下に示すリモートPC情報表示ダイアログが表示されます。



表示されるリモート情報には以下のようなものがあります。

コンピュータ名	現在接続しているリモートPCのコンピュータ名
ユーザ名	現在接続しているリモートPCにログオンしているユーザ名
OS	現在接続しているリモートPCのOS名
CPU	現在接続しているリモートPCのCPU (プロセッサの種類)
ディスプレイ	現在接続しているリモートPCのディスプレイの解像度とカラービット数

また、WinShareの各オブジェクトの情報も表示されます。

10.2.3 「表示」メニュー

「表示メニュー」は、ツールバー、ステータスバー、インジケータの表示の設定を行うメニューです。

「表示メニュー」は、以下の機能項目があります。

(1) ツールバーの表示/非表示

「ツールバーの表示/非表示」は、ツールバーを表示する/表示しないを選択して設定することができます。

(2) ステータスバーの表示/非表示

「ステータスバーの表示/非表示」は、ステータスバーを表示する/表示しないを選択して設定することができます。

(3) インジケータの表示/非表示

「インジケータの表示/非表示」は、インジケータを表示する/表示しないを選択して設定することができます。

インジケータが表示されている場合は、リモートPCから送られてくるデータの受信を開始するとライトが緑色に点灯し、終了するとライトが消えます。

このライトの点滅により、データの受信状態を見ることができます。

10.2.4 「ファイル」メニュー

「ファイルメニュー」は、現在のリモートPCの画面イメージをファイルに保存、プリンタに印刷するといった機能が集まったメニューです。

「ファイルメニュー」は、以下の機能項目があります。

(1) 保存

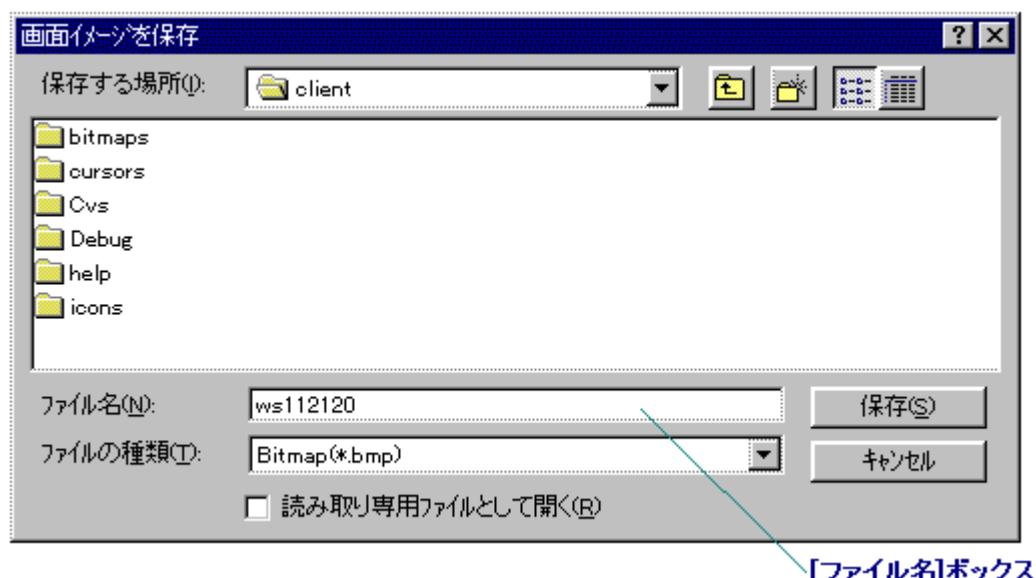
「保存」は、現在のリモートPCの画面イメージをビットマップ(.BMP)形式ファイルに保存することができます。

●画面イメージをファイルに保存するためには

- 1) 画像イメージを保存したいディレクトリを選択します。
- 2) 画面イメージのファイル名を[ファイル名]ボックスに入力します。

デフォルトのファイル名はWS+現在の日付(2文字)+現在の時刻(4文字)となります。

- 3) 画面イメージを (1) , (2) で指定したディレクトリ、ファイル名で保存する場合は[保存]ボタンをクリックします。保存しない場合は<キャンセル>ボタンをクリックします。



(2) 印刷

「印刷」は、現在のリモートPCの画面イメージをプリンタへ印刷することができます。

WinShareの「印刷」機能は、自動的に画面イメージを、印刷する用紙のサイズに変更して印刷します。



●画面イメージをプリンタへ印刷するためには

- 1) 画像イメージを印刷するプリンタを「プリンタ名」ボックスで選択します。
- 2) 画面イメージを（1）で指定したプリンタへ印刷する場合は<OK>ボタンをクリックします。
印刷しない場合は<キャンセル>ボタンをクリックします。

10.2.5 「操作」メニュー

「操作メニュー」は、リモートPCに対して遠隔操作を円滑に行う機能が集まったメニューです。

「操作メニュー」は、以下の機能項目があります。

(1) 最新画面表示

「最新画面表示」は、現在リモートPCに表示されている画面イメージを操作側の要求でオペレーションPCに表示することができます。

(2) リモート操作抑止

「リモート操作抑止」は、リモートPCのマウス操作を抑止(できなく)することができます。

「リモート操作抑止」中は、リモートPCでのマウス操作は一切行うことができませんが、オペレーションPCからの遠隔マウス操作は行うことができます。

オペレーションPCから遠隔操作中に、リモートPCでの操作を抑止し、安全に遠隔操作を行うことができます。

「リモート操作抑止」中は、リモートPCの画面上に「リモート操作抑止」中であることを示す赤い枠が表示されます。（枠のプロパティ設定は、リモートPCにインストールされているWinShareユーティリティを使用することで設定することができます。）

(3) リモート操作監視

「リモート操作監視」は、オペレーションPCからリモートPCへの遠隔マウス操作、キー入力を抑止(できなく)することができます。

「リモート操作監視」中は、オペレーションPCからの遠隔マウス操作、キー入力は一切行うことができません。リモートPCの画面の監視のみを行うことができます。

「リモート操作監視」中は、リモートPCの画面上に「リモート操作監視」中であることを示す黄色い枠が表示されます。(枠のプロパティ設定は、リモートPCにインストールされているWinShareユーティリティを使用することで設定することができます。)

(4) 通常操作

「通常操作」は、オペレーションPCからの遠隔マウス操作、キー入力をリモートPCに対して行うことができます。

「通常操作」中は、リモートPCの画面上に「通常操作」中であることを示す緑枠が表示されます。(枠のプロパティ設定は、リモートPCにインストールされているWinShareユーティリティを使用することで設定することができます。)

枠のプロパティ設定は、リモートPC側にインストールされているWinShareユーティリティで枠の表示位置や枠の色を自由に設定することができます。(画面はWinShare Ver3.0のもの)



(5) IME切り替え

「IME切り替え」は、リモートPCの日本語入力をオンまたはオフすることができます。遠隔キー入力で日本語(全角文字)入力が必要となった場合に使用します。

(6) スタートメニュー表示

「スタートメニュー表示」は、リモートPCのタスクバーの左端(あるいは上端)にあるスタートボタンを押した動作と同じことができます。

タスクバーが自動的に隠す設定になっているときに便利です。

(Windows NT3.51では、タスクバーという(グラフィカル・ユーザ)インターフェースがありませんので使用しても何もリモートPCでは起こりません。)

(7) CTRL+ALT+DEL送信

「CTRL+ALT+DEL送信」は、リモートPCでWindowsにログオンしたり、パスワードロックされたスクリーンセーバを解除したりするとき等に使用する **CTRL+ALT+DEL**キー入力を行うことができます。

ただし、Windows NT 3.51ではログオン前の画面情報を取得できないため、画面の変化がわからない状態で御利用いただかなければならない場面があります。

ここでは、Windows NT 3.51で画面の変化がわからない場合のCADボタンの利用方法について説明します。

* 操作手順

Windows NT 3.51では、以下の場合に黒い画面が取得されてしまい、画面の変化がわかりません。

- 1) スクリーンセーバ状態
- 2) ログオン中にCTRL+ALT+DELを押下したときの「Windows NTのセキュリティ」ダイアログ表示状態
- 3) パスワードロック状態
- 4) ログオン前状態

これらの状態でも以下の手順によりリモートPCの状態を判別し、操作することができます。

- ① WinShare ウィンドウの画面表示領域にマウスポインタを移動します。1) のスクリーンセーバ状態の場合は、マウスポインタを移動することで黒い画面から通常画面に復帰します。
- ② スクリーンセーバ状態以外の場合は、マウスポインタを移動しても黒い画面が表示されたままです。この場合は、WinShareのCADボタンをクリックしてください。オペレーションPCの画面上に「パスワード入力」ダイアログが表示されユーザ名、ドメイン名、パスワードの入力を求められます。このときキャンセルボタンをクリックしてください。これで通常画面に復帰します。
- ③ 「パスワード入力」ダイアログでキャンセルボタンをクリックし、「パスワード入力」ダイアログが消えた後も黒い画面が表示されたままの場合はパスワードロック状態か、ログオン前の状態です。この場合はもう一度 CAD ボタンをクリックして、「パスワード入力」ダイアログを表示させて正しいユーザ名、ドメイン名、パスワードを入力してください。
- ④ この操作により 4) のログオン前の状態であれば、ログオン状態の画面になり、WinShareから画面を取得できるようになります。また、ユーザ自身がパスワードロックをかけた場合や、ユーザ自身が利用中にスクリーンセーバにより自動的にロックされた場合も、この操作で通常

画面に復帰します。3)のパスワードロック状態で他のユーザによってロックされている場合は、アドミニストレータのユーザ名とパスワードを指定することにより強制的にロック解除を行うことができます。「パスワード入力」ダイアログへのユーザ名、ドメイン名、パスワードの入力に引き続いで、以下の操作を行うことにより、ログオン前の状態にすることができます。

(1) 「左向きカーソル」キーを押します

(2) さらに「Enter」キーを押します

この状態では、オペレーションPC側では黒い画面が表示されているだけなので、改めてCADボタンをクリックしてログオンの操作を行ってください。

* 操作中にCADボタンをクリックした場合

ログオン中に、CADボタンをクリックすると、「Windows NTのセキュリティ」ダイアログ表示状態となり、オペレーションPCのWinShareウィンドウには黒い画面が表示されます。この場合、もう一度CADボタンをクリックしてください。2回目のCADボタンのクリックにより「パスワード入力」ダイアログが表示されますが、これをキャンセルすることにより通常画面に復帰することができます。

10.2.6 「コマンド実行」メニュー

「コマンド実行メニュー」は、リモートPCやオペレーションPC上でコマンドを起動したり、リモートPCを再起動させたりする機能が集まったメニューです。

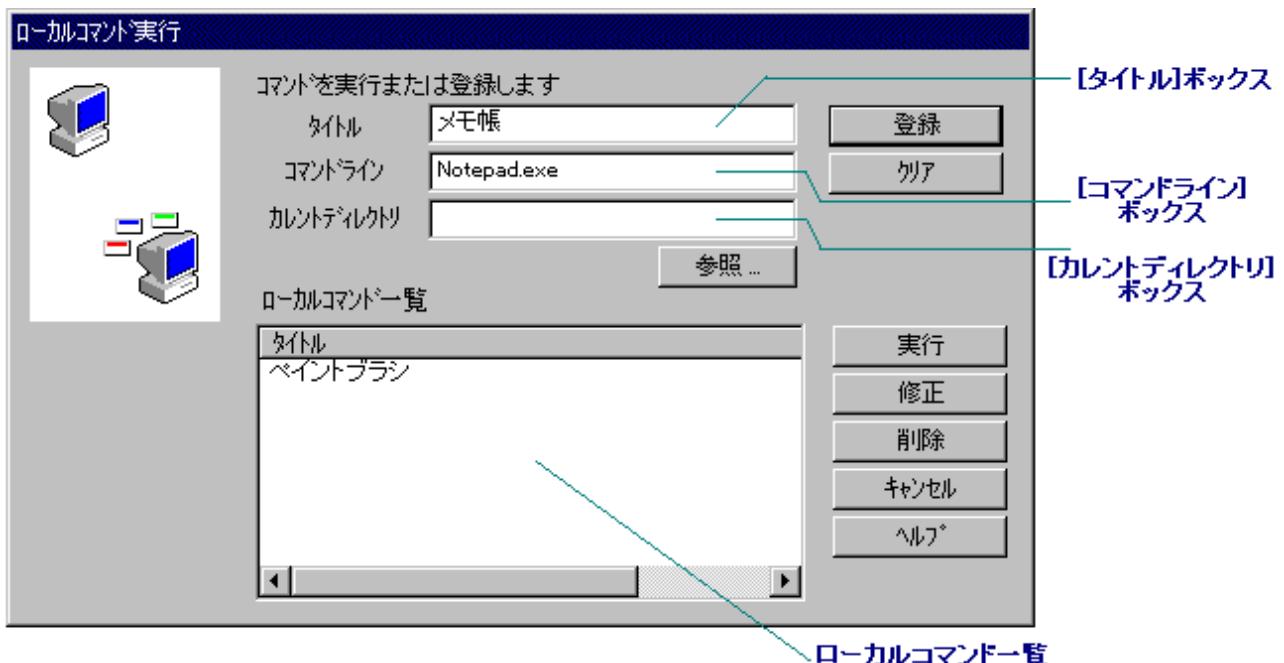
「コマンド実行メニュー」は、以下の機能項目があります。

(1) ローカルコマンド実行

「ローカルコマンド実行」は、WinShareウィンドウからオペレーションPCのコマンドを実行することができます。

WinShareの使用時によく使われるコマンドを登録しておくと便利です。

「ローカルコマンド実行」項目(または、ボタン)を選択すると、以下に示すローカルコマンド実行ダイアログが表示されます。



●ローカルコマンドを登録するためには

- 1) 登録するコマンドのタイトルを「タイトル」ボックスに入力します。
- 2) 登録するコマンドのフルパスを「コマンドライン」ボックスに入力します。
- 3) 2) で入力したコマンドの実行するカレントディレクトリを「カレントディレクトリ」ボックスに入力します。「カレントディレクトリ」ボックスに何も入力しない場合は、WinShareのインストールされたディレクトリが自動的に指定されます。
- 4) 1) ~ 3) まで入力した内容を登録する場合は<登録>ボタンをクリックします。入力した内容を初期状態(何も入力されていない状態)に戻すには<クリア>ボタンをクリックします。

入力した内容を登録せずにダイアログを閉じる場合は<キャンセル>ボタンをクリックします。

- 5) 登録が成功した場合は、登録したコマンドのタイトル名がローカルコマンド一覧に表示されます。

！アドバイス

コマンドのフルパスとカレントディレクトリをすばやく入力する場合もしくはコマンドのおいでのディレクトリがわからない場合は、<参照...>ボタンをクリックしてください。「ファイルの参照」ダイアログが表示されますので、登録したいコマンドを探し、そのコマンド名をダブルクリックしてください。ダブルクリック後、コマンド名と実行ディレクトリが自動的に「コマンドライン」ボックスと「カレントディレクトリ」ボックスに入力されます。

●ローカルコマンドを実行するためには

- 1) ローカルコマンド一覧から、実行したいコマンドのタイトルをクリックし選択します。
- 2) タイトルが選択された状態で<実行>ボタンをクリックします。実行せずにダイアログを閉じる場合は<キャンセル>ボタンをクリックします。

●ローカルコマンドを修正するためには

- 1) ローカルコマンド一覧から、修正したいコマンドのタイトルをクリックし選択します。
- 2) タイトルが選択された状態で<修正>ボタンをクリックします。選択したコマンドに設定されているタイトル、コマンドライン、カレントディレクトリがそれぞれ「タイトル」ボックス、「コマンドライン」ボックス、「カレントディレクトリ」ボックスに表示されます。
- 3) 修正したい項目を修正し、<登録>ボタンをクリックします。修正せずにダイアログを閉じる場合は<キャンセル>ボタンをクリックします。

！アドバイス

「タイトル」ボックスの内容を変更した場合は、修正とならず新規登録となります。

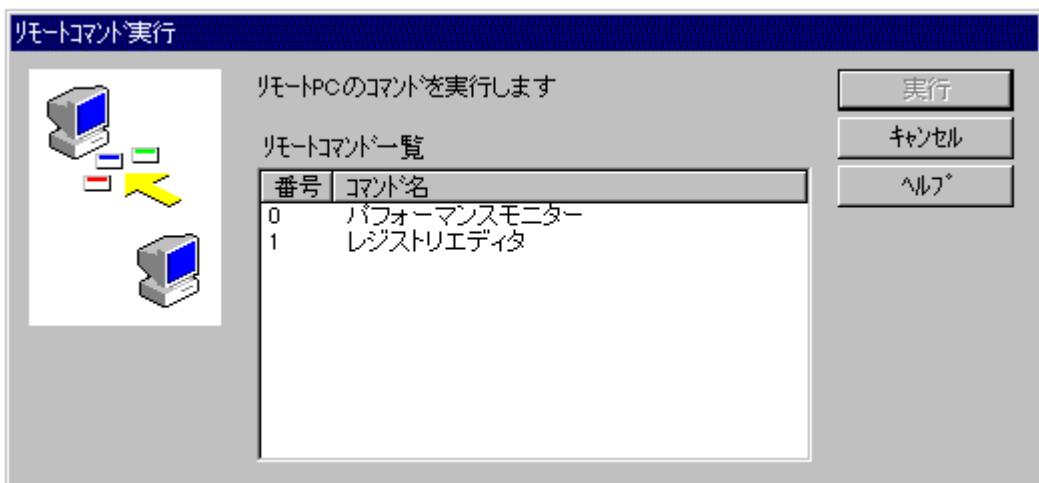
●ローカルコマンドを削除するためには

- 1) ローカルコマンド一覧から、削除したいコマンドのタイトルをクリックし選択します。
- 2) タイトルが選択された状態で<削除>ボタンをクリックします。削除せずにダイアログを閉じる場合は<キャンセル>ボタンをクリックします。

(2) リモートコマンド実行

「リモートコマンド実行」は、オペレーションPCからリモートPCで指定されたコマンドを実行することができます。

「リモートコマンド実行」項目(または、ボタン)を選択すると、以下に示すリモートコマンド実行ダイアログが表示されます。



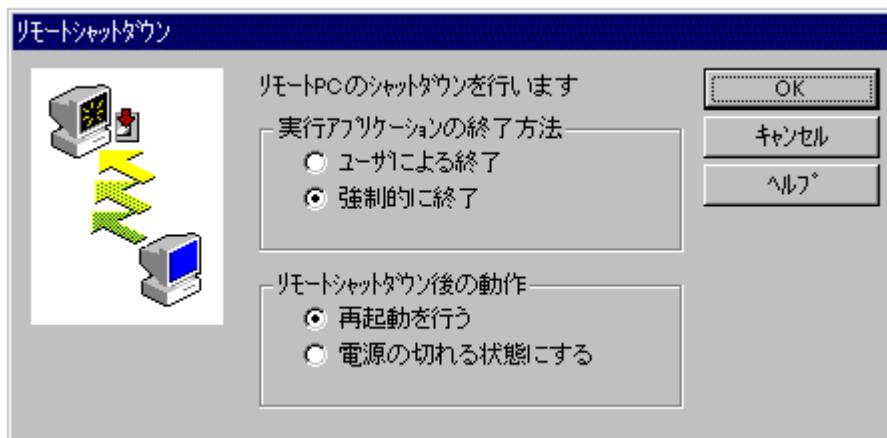
●リモートコマンド実行するためには

- 1) リモートコマンド一覧から、実行したいコマンドの番号をクリックし選択します。
- 2) 選択したコマンドを実行したい場合は<実行>ボタンをクリックします。実行したくない場合は<キャンセル>ボタンをクリックします。

(3) リモートシャットダウン

「リモートシャットダウン」は、現在接続されているリモートPCをシャットダウンすることができます。

「リモートシャットダウン」項目(または、ボタン)を選択すると、以下に示すリモートシャットダウンダイアログが表示されます。



●リモートシャットダウンを行うためには

1) 「実行アプリケーションの終了方法」と「リモートシャットダウン後の動作」を選択します。

「実行アプリケーションの終了方法」

・ユーザによる終了 ... リモートPCで動作しているアプリケーションの終了をユーザに確認するようにします。また、リモートPCに「シャットダウンしても良いですか？」のダイアログを表示し、ユーザにシャットダウンの選択を求めます。

・強制的に終了 ... リモートPCを強制的にシャットダウンします。

「シャットダウン後の動作」

・再起動を行う ... シャットダウン後にリモートPCの再起動を行います。

・電源の切れる状態にする ... シャットダウン処理後、リモートPCの再起動を行わず、電源の切れる状態にします。

2) 選択した方法でシャットダウンを行う場合は<OK>ボタンをクリックします。シャットダウンを行わない場合は<キャンセル>ボタンをクリックします。

10.2.7 「設定」メニュー

「設定メニュー」は、リモートPCやオペレーションPCの動作変更する機能が集まったメニューです。

10.2.7.1 「設定」－「動作変更」

(1) 動作変更

「動作変更」は、転送方式の変更、壁紙の表示、オートログアウト時間や更新時間を変更することができます。

「動作設定」項目(または、ボタン)を選択し、「動作変更」のタグをクリックすると、以下に示す動作設定ダイアログの動作変更シートが表示されます。



項目	説明
転送方式	圧縮転送 公衆回線や ISDN回線等のように転送速度が遅い回線での場合に選択します。画像データは圧縮されて転送されます。
	非圧縮転送 イーサネットのように比較的転送速度が速い回線での場合に選択します。画像データ圧縮はおこなわれません。
壁紙の表示	リモートPC側の壁紙を無地の壁紙に変更します。壁紙が変更されたリモートPCは、切断時または「壁紙を表示する」に変更した場合に、元の壁紙に戻ります。
オートログアウト時間	オペレーションPC側のウィンドウ上で、遠隔操作がおこなわれなくなってから一定時間(ユーザ設定による時間)が経過すると、自動的に切断され、オペレーションPCには切断されたことを示すダイアログボックスが表示されます。オートログアウト時間は1(分)から60(分)までの間で指定することができます。 0(分)を指定した場合は、オートログアウトを行わない設定になります。
更新間隔	リモートPCの画面の更新を定期的に監視し、更新があった場合はオペレーションPCのウィンドウに反映します。更新間隔は、0.1(秒)から60.0(秒)までの間で指定することができます。

●動作を変更するためには

転送方式の変更、壁紙の表示、オートログアウト時間や更新時間をマウスとキーボードで変更します。変更する場合は[OK]ボタンをクリックします。変更を中止する場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。

(2) 画像変更

「画像変更」は、リモートPCから送られてくる画面イメージの大きさや色数を変更することができます。

「動作設定」項目(または、ボタン)を選択し、「画像変更」のタグをクリックすると、以下に示す動作設定ダイアログの画像変更シートが表示されます。



項目	説明
大きさ	リモートPCから送られてくる画面イメージの大きさを縮小することにより画面イメージの更新を早くすることができます。
色数	リモートPCから送られてくる画面イメージの色数を減色することにより画面イメージの更新を早くすることができます。

●画像を変更するためには

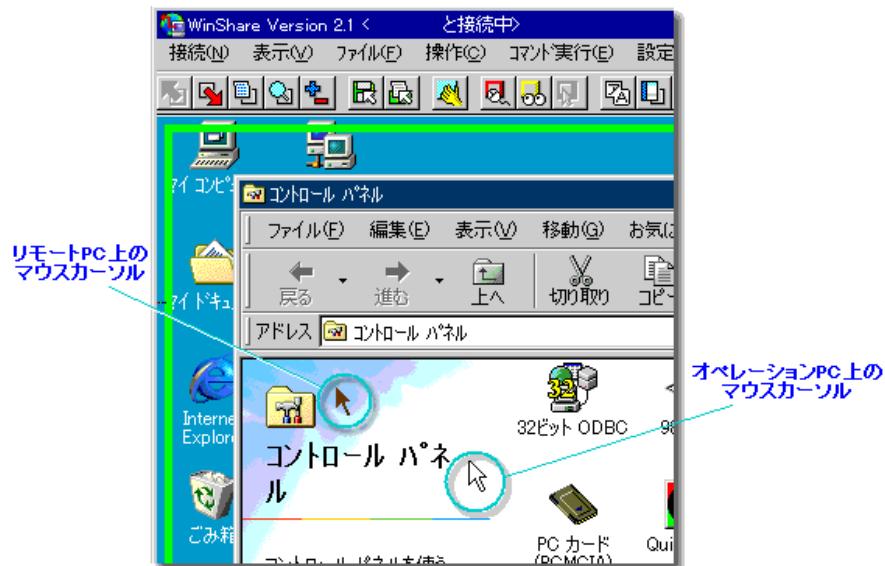
希望する大きさや色数をマウスで設定します。変更する場合は[OK]ボタンをクリックします。変更を中止する場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。

(3) リモートマウス表示の変更

「リモートマウス表示の変更」は、リモートPCのマウス位置をオペレーションPCに表示する/表示しないを変更することができます。

メニューまたはツールバー上の「動作設定」ボタンを選択し、[リモートマウス表示の変更]のタブをクリックすると、以下に示す動作設定ダイアログの画像変更シートが表示されます。

「表示する」に設定した場合、WinShare ウィンドウのキャンバス領域にリモートPCのマウス位置が表示されます。



●リモートマウス表示を変更するためには

リモートマウスを表示する場合は、[リモートマウスを表示する]チェックボックスにチェックをつけて[OK]ボタンをクリックします。表示しない場合は、チェックを外します。変更を中止する場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。

(4) 指示マーク表示操作の変更

「指示マークの変更」は、オペレーションPCで「指示マーク」を使用するときの操作を変更することができます。

メニューまたはツールバー上の「動作設定」ボタンを選択して、[指示マークの変更]のタグをクリックすると、以下に示す動作設定ダイアログの指示マークの変更シートが表示されます。



図6-6 指示マークのイメージ



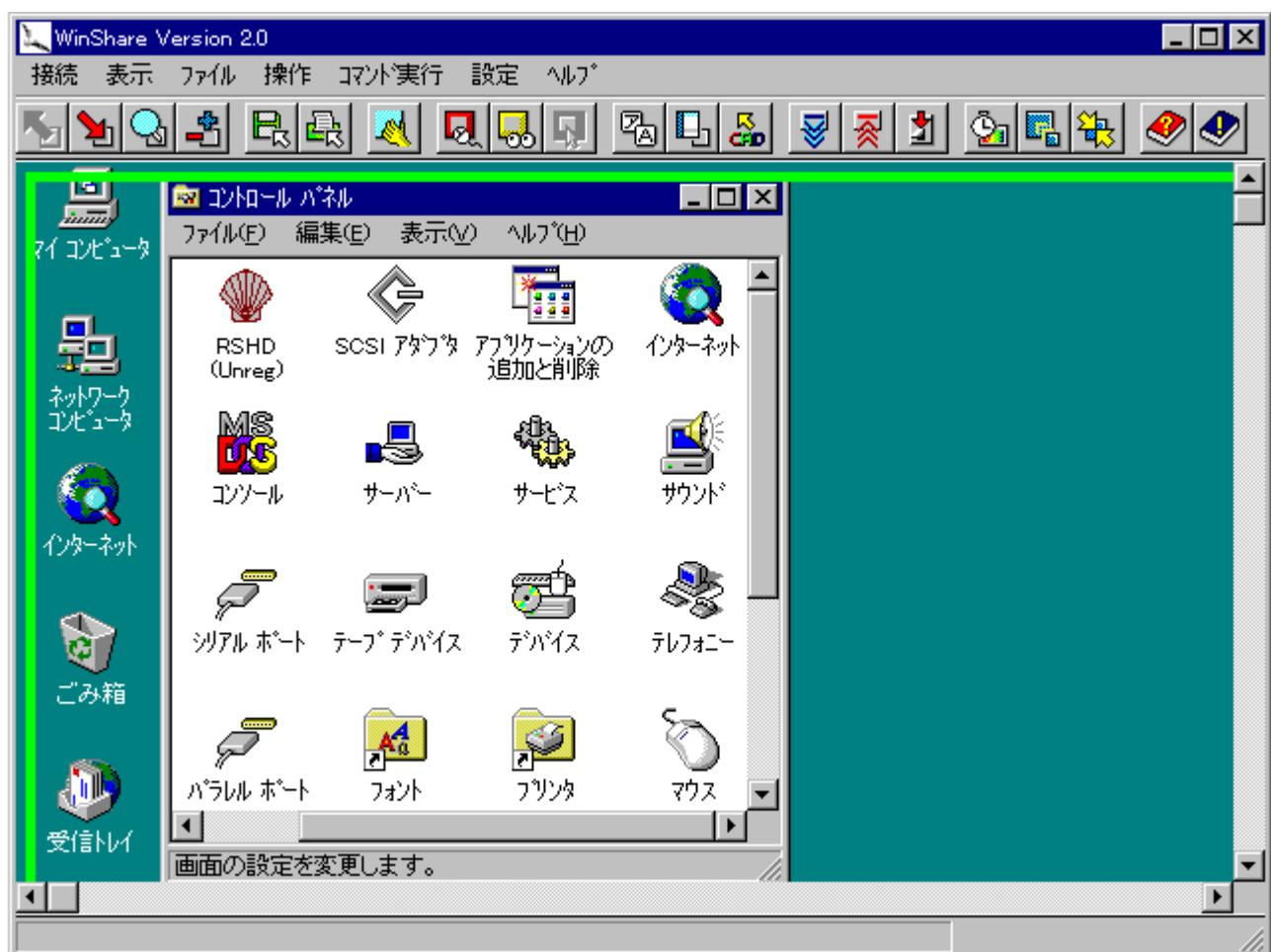
●指示マークを変更するためには

指示マークを使用するときの操作をマウス等で設定します。変更する場合は[OK]ボタンをクリックします。変更を中止する場合は[キャンセル]ボタンをクリックします。

10.2.7.2 「設定」 - 「フルスクリーン表示」

「フルスクリーン表示」は、オペレーションPCの解像度とリモートPCの解像度が同じ場合に、リモートPCの画面イメージを、同じ感覚でオペレーションPCから操作するために、タイトルバーやメニューバー、スクロールバーを付けずに実行することができます。

* 通常表示

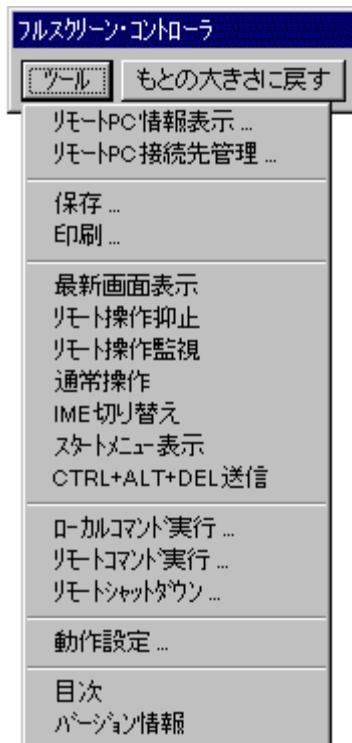


* フルスクリーン表示



フルスクリーン表示しているときの各操作は、以下に示す「フルスクリーンコントローラ」を使用して行います。

フルスクリーン表示から通常の大きさに戻す場合は、<もとの大きさに戻す>ボタンをクリックします。



10.2.7.3 「設定」 - 「オートズーム表示」

「オートズーム表示」は、キャンバスウィンドウの大きさに合わせて、リモートPCの画面イメージを拡大または縮小して表示することができます。

「オートズーム表示」と「通常表示」は、メニューまたはツールバー上のオートズーム表示ボタン ( または )で切り替えることができます。

●オートズーム表示を行うには

- 1) ツールバー上の  ボタンをクリックします。
- 2) 拡大または縮小したい画面の大きさにキャンバスウィンドウをリサイズします。
- 3) リサイズしたキャンバスウィンドウに合わせて画面イメージが表示されます。

オートズーム表示中は、「動作設定」の画像変更で大きさを変更することはできなくなります。

●通常表示を行うには

- 1) ツールバー上の  ボタンをクリックします。
- 2) 自動的に通常表示の大きさにキャンバスウィンドウがリサイズし、画面イメージが表示されます。

10.2.8 「ヘルプ」 メニュー

「ヘルプメニュー」は、WinShareのバージョン情報やヘルプを参照する機能が集まったメニューです。

10.2.8.1 目次

ヘルプを表示します。

10.2.8.2 バージョン情報

現在、使用している WinShareのバージョンを表示します。

10.2.9 コマンドラインオプション

WinShareは、起動時に以下のパラメータをコマンドラインパラメータとして指定することができます。

書式

WSCLIENT.EXE [/server リモートPC名] [/パラメータ]

パラメーター一覧

パラメータ名:書式	パラメータの説明
/width <i>width</i>	WinShare起動時のウィンドウの幅を指定することができます。省略時は、635に設定されます。
/height <i>height</i>	WinShare起動時のウィンドウの高さを指定することができます。省略時は、475に設定されます。
/xoff <i>xoff</i>	WinShare起動時にウィンドウの左上の水平座標を指定することができます。省略時は、画面中央になるような水平座標に設定されます。
/yoff <i>yoff</i>	WinShare起動時にウィンドウの左上の垂直座標を指定することができます。省略時は、画面中央になるような垂直座標に設定されます。
/geometry widthxheight+xoff+yoff	WinShare起動時に表示するウィンドウの大きさと位置を指定することができます。 各メンバは、以下の意味を持ちます。

	<i>width</i>	ウィンドウの幅
	<i>height</i>	ウィンドウの高さ
	<i>xoff</i>	ウィンドウの表示位置[x座標]
	<i>yoff</i>	ウィンドウの表示位置[y座標]
		xoff,yoffはスクリーンの端からの位置を示していますが、+xoff,+yoffと表記した場合はスクリーンの左上隅からのオフセット、-xoff,-yoffと表示した場合は、スクリーンの右下隅からのオフセットを示します。width,height,xoff,yoffのいずれのメンバも省略することはできません。
<i>/resize [auto fix]</i>	WinShareウィンドウの大きさを画像変更にともなって動的に変更するかを指定することができます。	
	<i>auto</i>	WinShare起動時に指定した大きさにWinShare ウィンドウの大きさを固定します。
	<i>fix</i>	リモートPCの画面サイズや画像変更により WinShare ウィンドウの大きさを自動的に変更します。
省略時は、auto に設定されます。		
<i>/network [high low]</i>	画像データの転送方式を指定することができます。	
	<i>high</i>	画像データを圧縮せずに転送します。イーサネットのような転送速度が速い回線の場合に選択します。
	<i>low</i>	画像データを圧縮し転送します。公衆回線や ISDN回線等のような転送速度が遅い回線の場合に選択します。
省略時は、high に設定されます。		
<i>/renewaltime</i> <i>renewaltime</i>	画像データの自動更新時間を指定することができます。指定は、秒単位で指定して下さい。省略時は、2.5秒に設定されます。	
<i>/wallpaper [show hide]</i>	リモートPCの壁紙の表示を指定することができます。	
	<i>show</i>	壁紙を表示します。
	<i>hide</i>	壁紙を消去します。
省略時は、show に設定されます。		

/logouttime <i>logouttime</i>	オートログアウト時間を指定することができます。指定は、分単位で指定して下さい。0分を指定すると オートログアウトが行われません。省略時は、10分に設定されます。	
/color [2 4 8 16 24 32]	初回表示の画像データの色数を指定することができます。	
2	2	2色(白黒)表示
4	4	16色表示
8	8	256色表示
16	16	High Color(16ビットカラー)表示
24	24	True Color(24ビットカラー)表示
32	32	True Color(32ビットカラー)表示
省略時は、8が設定されます。		
/scale [100 75 50]	初回表示の画像データの大きさを指定することができます。	
100	100	100%表示
75	75	75%表示(面積比 9:16)
50	50	50%表示(面積比 1:4)
省略時は、100が設定されます。		
/screen [window full]	初回時にWinShareウィンドウのフルスクリーン化を指定することができます。オペレーションPCのディスプレイ解像度とリモートPCのディスプレイ解像度が異なる場合は使用することができません。	
window	フルスクリーン表示を行いません。	
full	フルスクリーン表示を行います。	
省略時は、windowが設定されます。		
/help	ヘルプファイルを表示することができます。	

10.2.10 NaviPad(ナビ・パッド)

リモートPC用のWinShareをインストールした場合、NAVIPAD(透明ボード機能)という指示マーク機能を強化したツールがインストールされます。

このツールは、ツールバーの”NAVIPAD実行”ボタンまたは「コマンド実行」メニューの”NAVIPAD実行”より起動することができます。



NAVIPAD イメージ図

NAVIPADを利用すると、リモートPCのディスプレイ上に図や文字を書きこむことができるので、的確な説明や指示を行うことができます。このNAVIPADに書き込んだイメージはプリンタへ出力したり、ファイルへ保存したりすることができますのでグラフィカルな指示文書としても利用することができます。

10.3 WinShare ユーティリティ (Ver3.0)

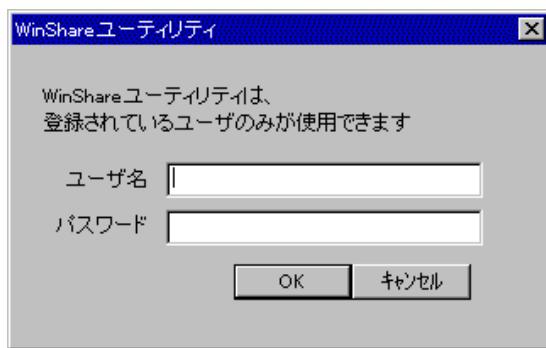
セキュリティ設定は、リモートPCにインストールされている「WinShare ユーティリティ」を使って行います。WinShare ユーティリティで設定できる動作は、以下の項目です。

セキュリティ設定	このPCに WinShareを利用して接続するPCやユーザのアクセスを制御する方法を設定します
ユーザ管理	セキュリティ設定で利用するユーザ情報を登録します
アクセスホスト	セキュリティ設定で利用するPC情報を登録します
リモートコマンド	このPC上で実行される、リモートコマンドを登録します
ログ設定	WinShareの動作を記録するログを設定します
表示枠	WinShareの現在の動作を表示する枠を設定します

10.3.1 ユーティリティの起動

Windows XP/2000/NT上で、WinShareユーティリティを使用するためには、**Administrators グループに所属するユーザでWindows XP/2000/NTにログオンする必要があります。** Windows Me, Windows98, Windows95では、この制限はありません。

WinShareユーティリティは、WinShareユーティリティに登録したユーザのみが利用できます。起動時にユーザ名とパスワードを入力するダイアログを出力しますので、WinShareユーティリティのユーザ管理で登録されたユーザ名とパスワードを入力してください。



WinShare ユーティリティ・パスワードダイアログ

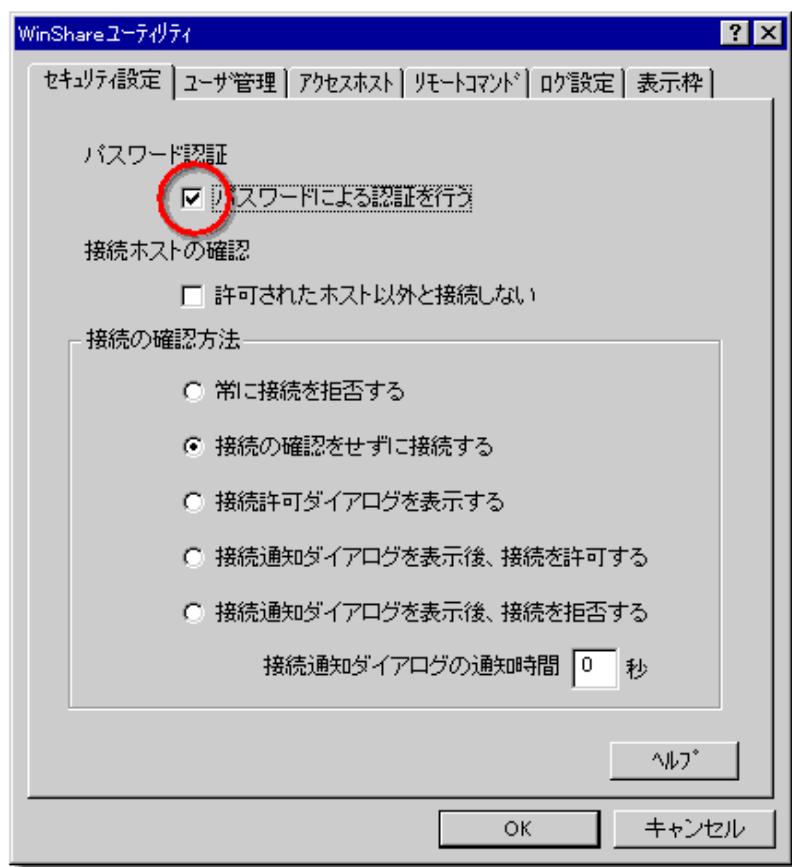
「OK」ボタンをクリックし、ユーザとパスワードが認証されると、WinShareユーティリティが開始されます。中止する場合には、「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

10.3.2 セキュリティ設定

リモートPCを遠隔操作するユーザを確認する方法を設定します。接続時の確認方法として、以下の方法を複数選択して設定することができます。

10.3.2.1 パスワード認証

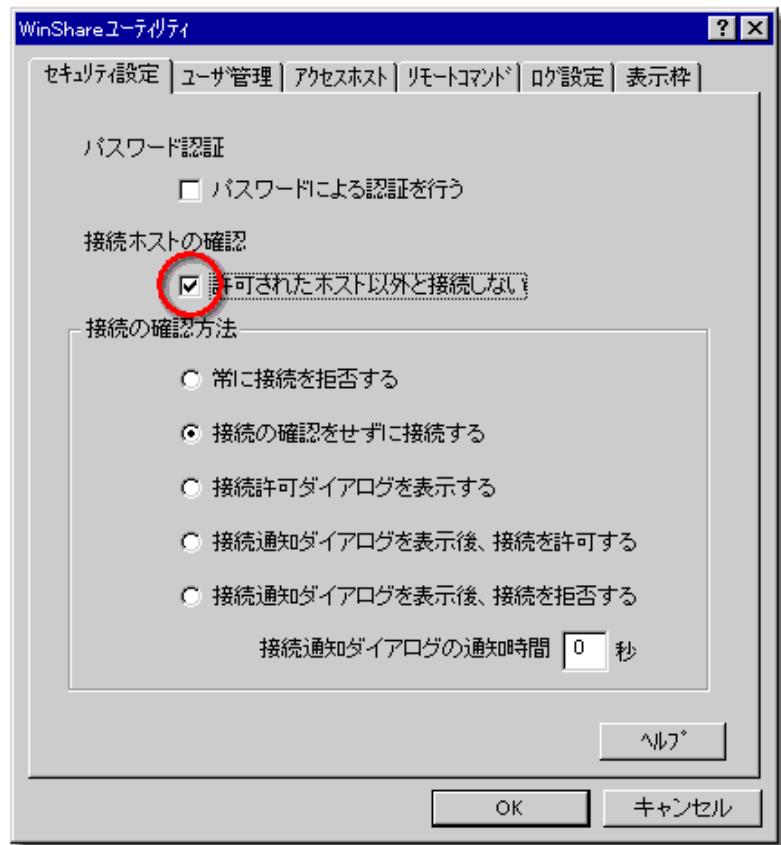
このチェックボタンをチェックするとユーザ管理に登録されたユーザ名とパスワードによる、ユーザの認証を行います。チェックしない場合はユーザ名とパスワードによる認証は行いません。



パスワード認証の設定

10.3.2.2 接続ホストの認証

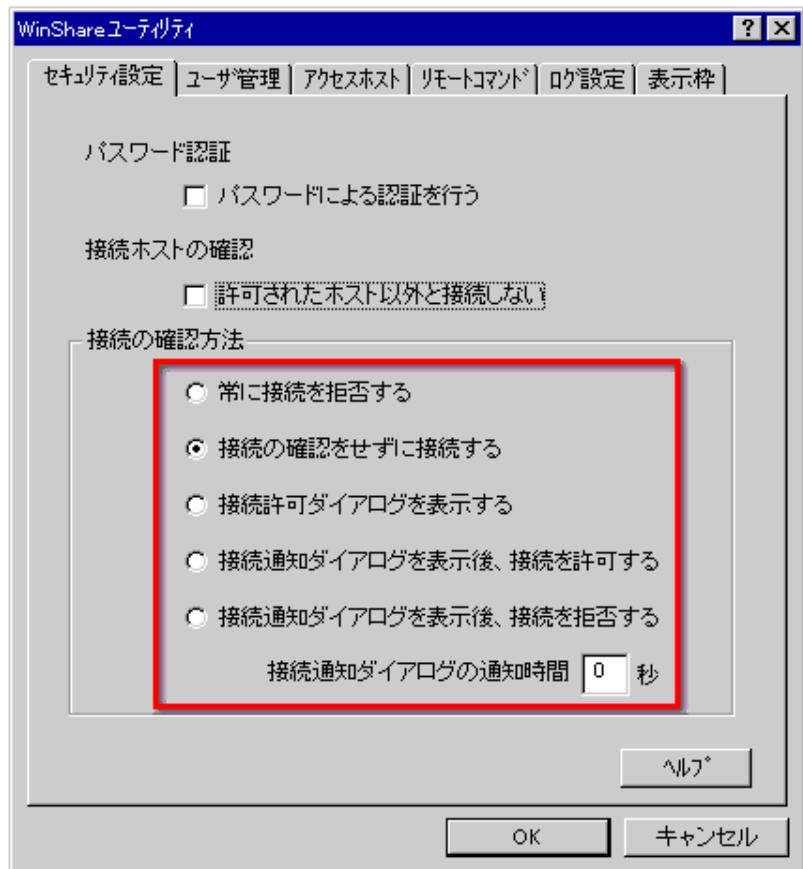
このチェックボタンをチェックするとアクセスホストに登録されたPC（オペレーションPC）以外からの接続はすべて拒否します。チェックしない場合はアクセスホストによる認証は行いません。



接続ホスト認証の設定

10.3.2.3 接続の確認方法

ここではWinShareから接続要求があった場合の動作を指定します。以下のうちの一つを選択します。



接続確認方法の設定

「常に接続を拒否する」

すべての接続を拒否します。このボタンをチェックすると認証結果にかかわらずWinShareからの接続は一切できなくなります。

「接続確認をせずに接続する」

すべての接続を許可します。このボタンをチェックするとWinShareユーザへの通知なしにWinShareからの接続が開始されます。

「接続許可ダイアログを表示する」

このPCの画面に、接続の可否を尋ねるダイアログを表示し、ユーザの判断を待ちます。ユーザが「YES（はい）」ボタンをクリックしない限り接続が開始されることはありません。

「接続通知ダイアログを表示後、接続を許可する」

このPCの画面に、時限付きの接続の可否を尋ねるダイアログを表示し、「接続通知ダイアログの通知時間」で 指定した時間が経過した場合に接続を許可します。

「接続通知ダイアログを表示後、接続を拒否する」

このPCの画面に、時限付きの接続の可否を尋ねるダイアログを表示し、「接続通知ダイアログの通知時間」で 指定した時間が経過した場合に接続を拒否します。

「接続通知ダイアログの通知時間」

「接続通知ダイアログを表示後、接続を許可する/拒否するの場合に接続通知ダイアログの表示時間」を秒単位で指定します。

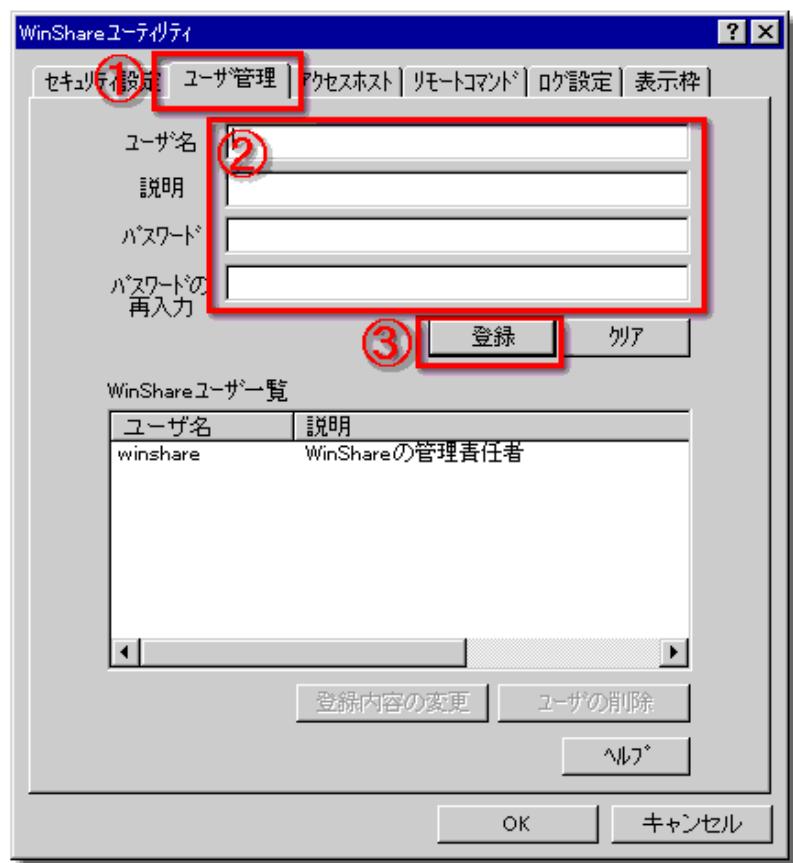
10.3.3 ユーザの管理

ユーザ管理は、WinShareを使用してこのPCに接続できるユーザの登録や削除、パスワードの変更を行います。

10.3.4 ユーザを登録するには

WinShareからの接続を許可するユーザ及び、WinShareユーティリティを利用するユーザを登録します。

- 1) . [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの [ユーザ管理] タブをマウスでクリックします。
- 2) . [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が [ユーザ管理] の表示に変わります。[ユーザ名], [パスワード] を入力します。パスワードは、確認のため [パスワード再入力] に再度入力する必要があります。必要に応じて、ユーザの説明を [説明] に入力します。すでに登録されているユーザ名を入力した場合には、登録されているユーザのパスワードや説明が変更されます。
- 3) . ユーザを登録する場合には [登録] ボタンをクリックします。登録を中止する場合には [クリア] ボタンをクリックします。引き続き登録をおこなう場合には、[ユーザ名], [パスワード] を入力します。

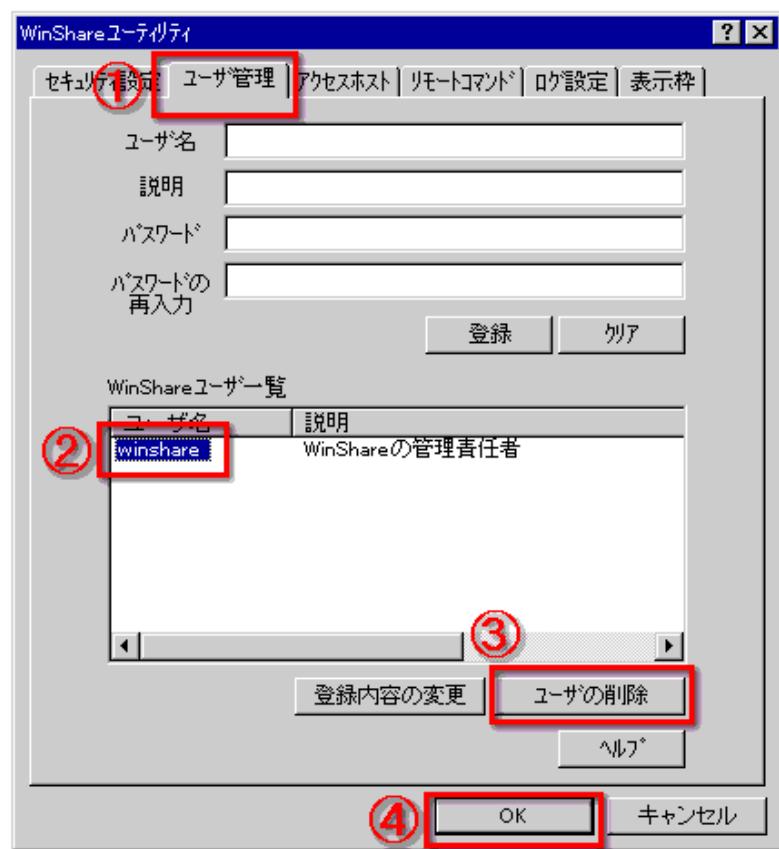


ユーザの登録

●ユーザを削除するには

WinShareによるこのPCへの接続が許可されているユーザを削除します。

- 1) . [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの [ユーザ管理] タブをマウスでクリックします。
- 2) . [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が [ユーザ管理] になります。 WinShare ユーザー一覧から削除したいユーザをマウスでクリックします。ユーザは反転されてマークされます。
- 3) . マークしたユーザを削除するには、 [ユーザの削除] ボタンをクリックします。削除が完了すれば、 WinShareユーザー一覧からユーザが削除されます。
- 4) . 終了するためには、 [OK] ボタンをクリックします。引き続き削除をおこなう場合には、WinShare ユーザー一覧から削除したいユーザをマウスでクリックし、マークします。

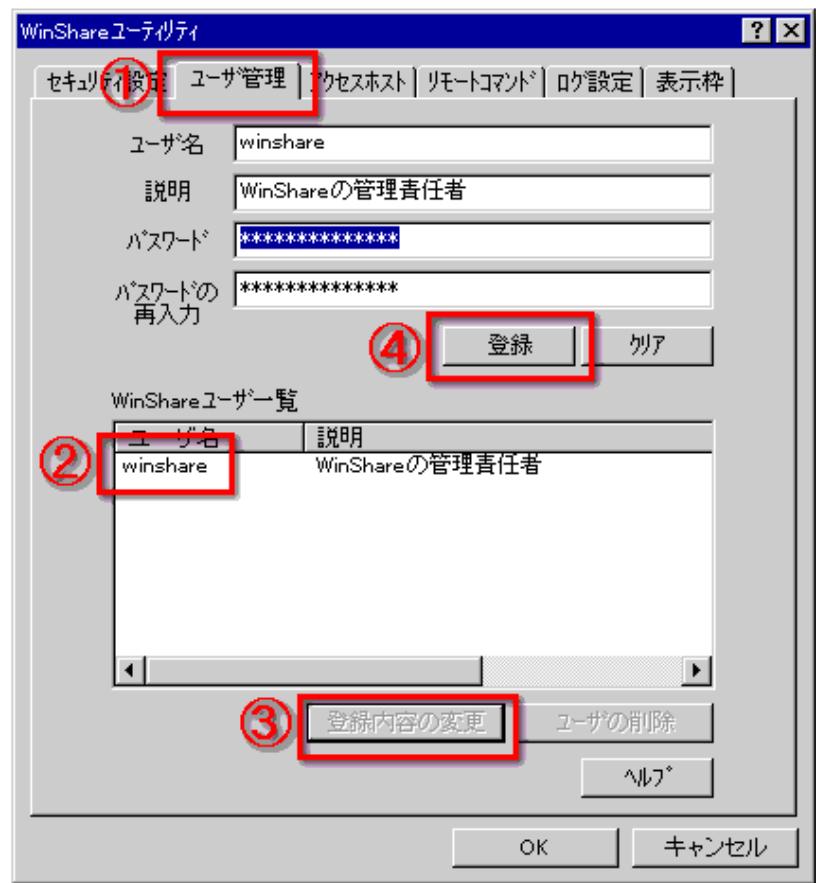


ユーザの削除

10.3.4.1 パスワードを変更するには

WinShareによるこのPCへの接続が許可されたユーザのパスワードを変更します。

- 1) [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの [ユーザ管理] タブをマウスでクリックします。
- 2) [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が [ユーザ管理] になります。 パスワードを変更したいユーザをWinShareユーザー一覧から選択し、マウスでクリックします。選択されたユーザは反転されてマークされます。
- 3) 次に [登録内容の変更] ボタンをクリックします。ユーザ管理の [ユーザ名] ボックスに、マークしたユーザ名が表示されますので、 [パスワード] ボックスに変更したいパスワードをキーボードから入力します。パスワードは、確認のため[パスワード再入力] に再度キーボードから入力する必要があります。ユーザ名を、すでに登録されている他のユーザ名に変更した場合、そのユーザのパスワードが変更され、WinShareユーザー一覧で選択したユーザのパスワードは変更されません。
- 4) パスワードを変更したユーザを登録する場合には [登録] ボタンをクリックします。 変更を中止する場合には [クリア] ボタンをクリックします。引き続き変更をおこなう場合には、3) ,4) の作業を繰り返してください。



登録内容の修正

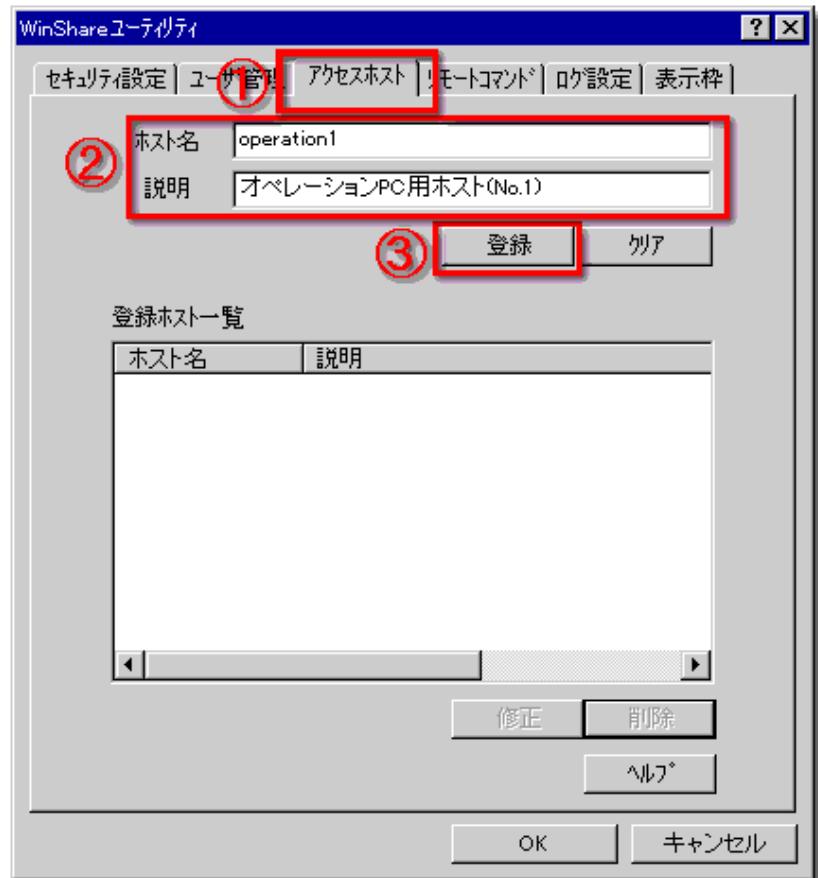
10.3.5 アクセスホスト

アクセスホストでは、WinShareによるこのPCへの接続を許可するPCの名前を登録します。

10.3.5.1 ホストを登録するには

WinShareによるこのPCへの接続を許可するPCを登録します。

- 1) [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの [アクセスホスト] タブをマウスでクリックします。
- 2) [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が [アクセスホスト] になります。[ホスト名] を入力します。必要に応じて、そのPCの説明を[説明]に入力します。すでに登録されているホスト名を入力した場合には、登録されているホストの説明が変更されます。
- 3) ホストを登録する場合には [登録] ボタンをクリックします。登録を中止する場合には [クリア] ボタンをクリックします。
- 4) 引き続き登録をおこなう場合には、[ホスト名]を入力します。

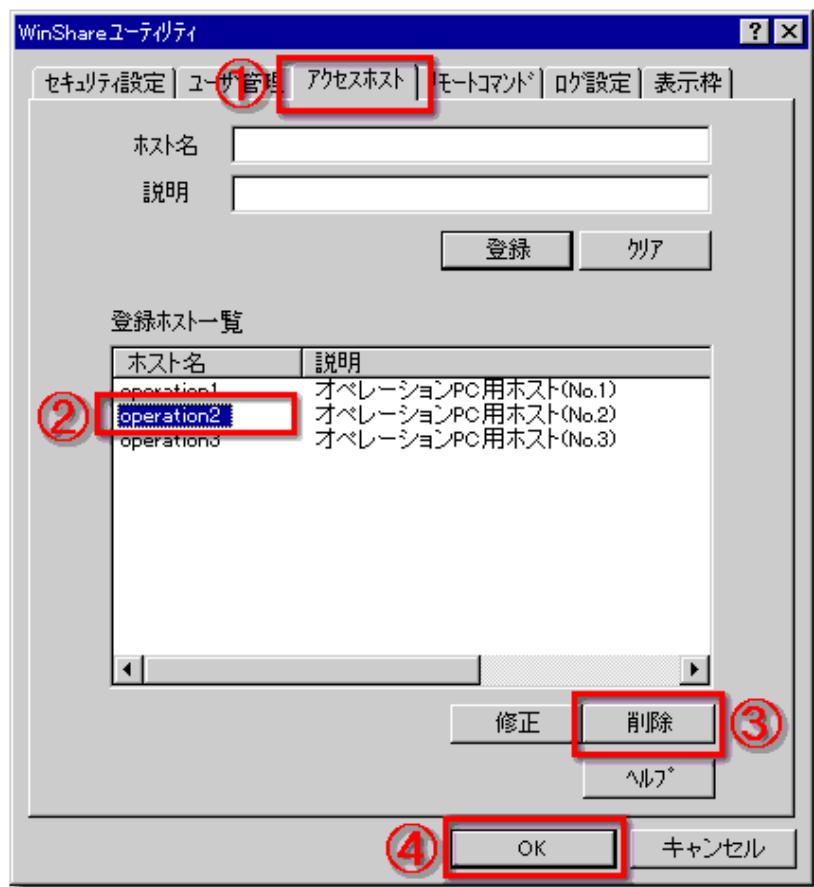


アクセスホストの登録

10.3.5.2 ホストを削除するには

WinShareによるこのPCへの接続が許可されているホストを削除します。

- 1) . [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの [アクセスホスト] タブをマウスでクリックします。
- 2) . [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が [アクセスホスト] になります。登録ホスト一覧から削除したいホスト名をマウスでクリックします。ホスト名は反転されてマークされます。
- 3) . マークしたホストを削除するには、[削除] ボタンをクリックします。削除が完了すれば、登録ホスト一覧からホスト名が削除されます。
- 4) . 終了するためには、[OK] ボタンをクリックします。引き続き削除をおこなう場合には、登録ホスト一覧から削除したいホスト名をマウスでクリックし、マークします。

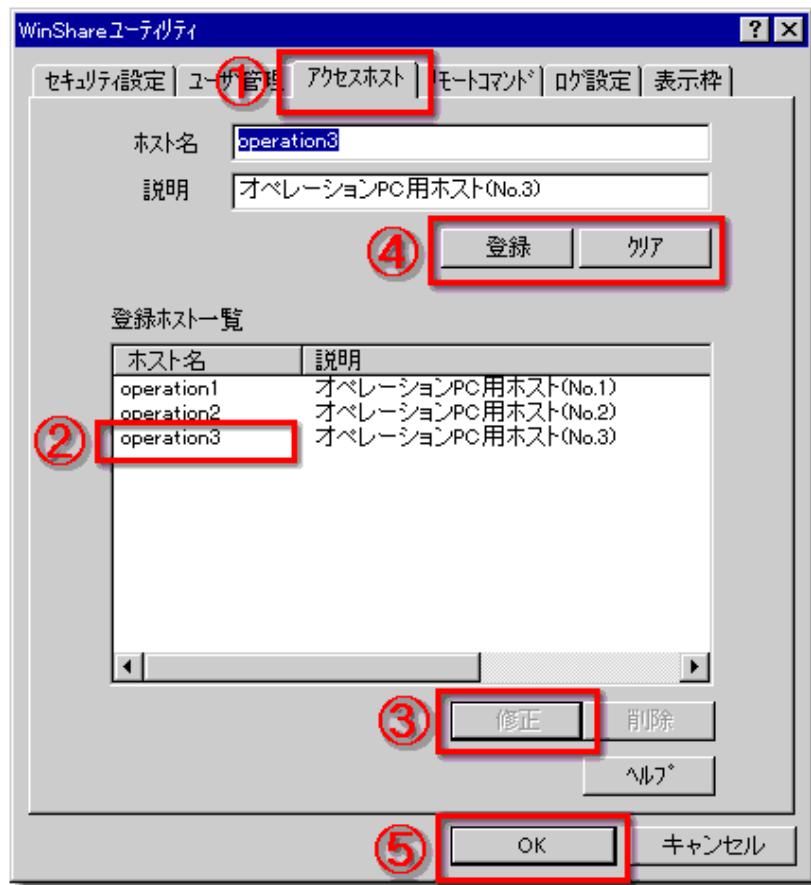


登録されているアクセスホストの削除

10.3.5.3 ホスト登録内容を修正するには

WinShareによるこのPCへの接続が許可されているホストの登録内容を修正します。

- 1) [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの [アクセスホスト] タブをマウスでクリックします。
- 2) [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が [アクセスホスト] になります。登録ホスト一覧から修正したいホスト名をマウスでクリックします。ホスト名は反転されてマークされます。
- 3) マークしたホストを修正するには、[修正] ボタンをクリックします。登録内容が「ホスト名」と「説明」の部分に表示されますので、必要に応じて内容を修正して下さい。
- 4) 修正が完了後「登録」ボタンをクリックすると修正後の内容が登録されます。修正を中止する場合は「クリア」ボタンをクリックしてください。
- 5) 終了するためには、[OK] ボタンをクリックします。



登録されているアクセスホストの内容修正

10.3.6 ログ設定

WinShareを使用した遠隔操作の接続状況やリモートコマンドなどの動作状況を記録するための設定をします。

■ログの種類

ログの種類には以下の3種類があります。

セキュリティログ	パスワード認証の失敗など、セキュリティに関する記録を残します。
接続ログ	接続と切断時にオペレーションPC名を記録します。また、何らかの原因でオペレーションPCとの接続に失敗した場合にそのエラー情報を記録します。接続ができない場合などにこのログを残すことでトラブルシューティングが行えます。
コマンド実行履歴ログ	リモートコマンド実行で実行されたコマンドの履歴情報を残します。

■ログ取得の設定

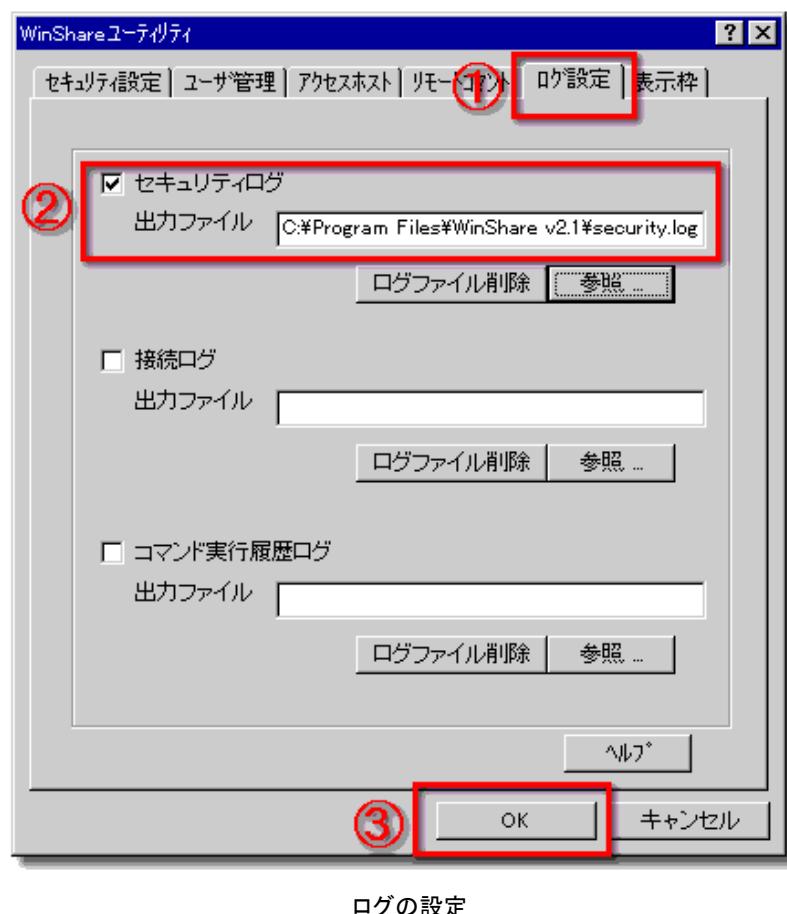
WinShareを使用した遠隔操作の接続状況やリモートコマンドなどの動作状況を記録するための設定をします。

■ログファイルの削除

WinShareを使用した遠隔操作の接続状況やリモートコマンドなどの動作状況の記録を削除します。

10.3.6.1 ログの設定を行うには

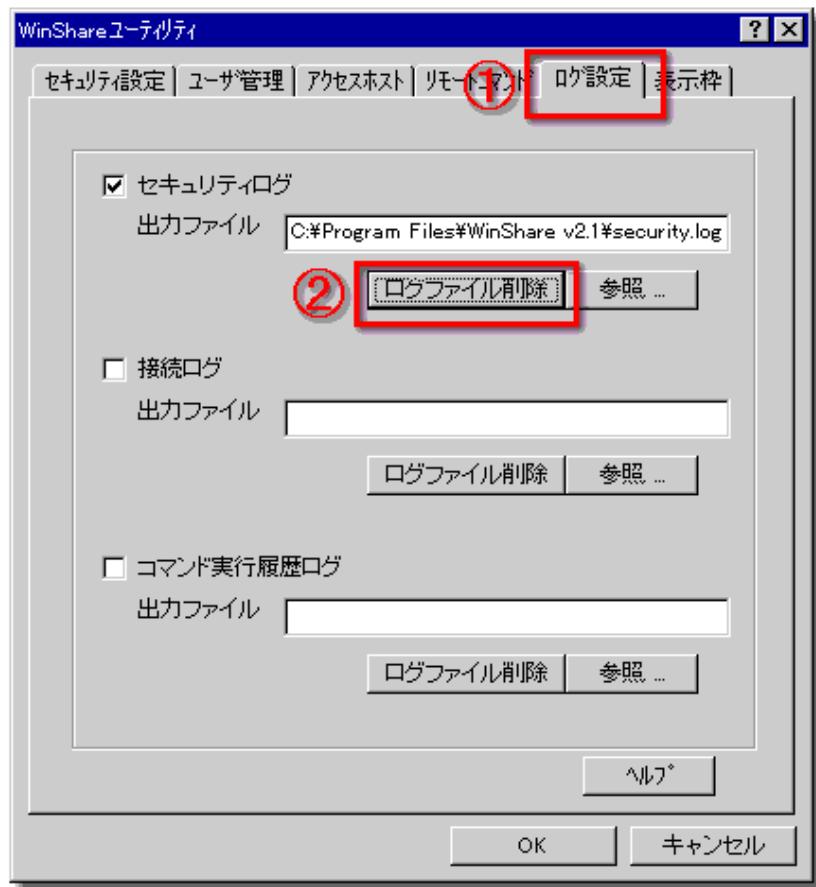
- 1). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの「ログ設定」タブをマウスでクリックします。
- 2). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が「ログ設定」になります。「セキュリティログ」、「接続エラーログ」、「コマンド実行履歴ログ」のうちログを残したいものについて左端のチェックボタンをチェックし、右側の「出力ファイル欄」に出力ファイル名（フルパス名）を入力してください。[参照...]ボタンで表示されるファイルダイアログでファイルを指定することも可能です。
- 3). 指定が完了したら、[OK] ボタンをクリックしてください。



ログの設定

10.3.6.2 ログファイルを削除するには

- 1). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの「ログ設定」タブをマウスでクリックします。
- 2). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が「ログ設定」になります。「セキュリティログ」、「接続エラーログ」、「コマンド実行履歴ログ」のうち削除したいログファイルの「ログファイル削除」のボタンをクリックします。ボタンをクリックした時点でログファイルは削除されます。



ログファイルの削除

10.3.7 ログ形式

セキュリティログ、接続ログ、コマンド実行履歴ログは、以下に示す形式で記録されます。

ログを記録するという設定にした場合、これらのログファイルのサイズは単調に増加しますので、定期的にファイルサイズを確認して、ログファイルの削除等のメンテナンスが必要です。

月△日△時分秒△年△オペレーションPC△WinShareモジュール[エラー番号]△情報メッセージ

(△:空白文字)

ログ出力形式

月,日,時分秒,年	情報メッセージが出力された日時です。
オペレーションP	接続してきたオペレーションPC名が記録されます
WinShareモジュール	どのWinShareのモジュールが情報メッセージを出力したかを示します。情報メッセージを出力する主なモジュールを以下に示します。
	WSSERVER.EXE, WSMANAGER.EXE, WSUTILITY.EXE
エラー番号	処理が正常終了した場合は、0が記録されます。0以外は異常終了の場合です。
情報メッセージ	接続記録または実行履歴等の情報です。

それぞれのログを記録するファイルは、WinShareユーティリティで指定します。 ログが記録されたファイルは、メモ帳等のエディタで参照や編集を行うことができます。

10.3.8 表示枠

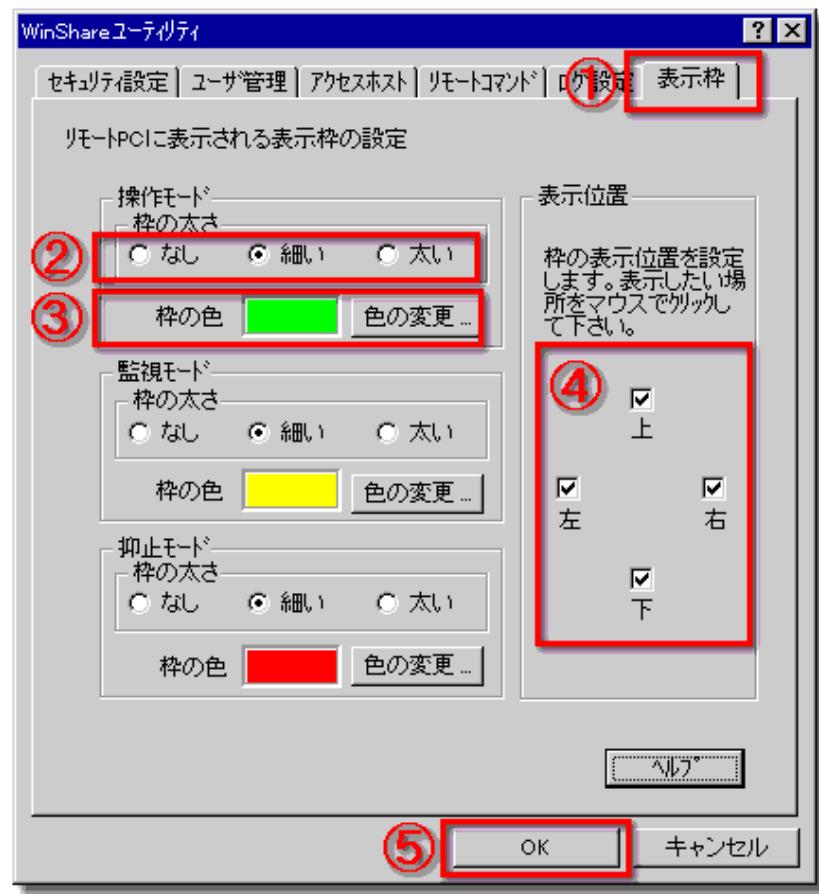
WinShareによる遠隔操作中であることや、WinShareの操作モードを示す、表示枠の色や太さを設定します。WinShareには以下の3つのモードがあり、それについて現在のモードを画面に枠として表示することができます。

操作モード

操作モード	基本的なモードです。オペレーションPCからも、リモートPCからも操作が可能です
監視モード	オペレーションPCからリモートPCへの遠隔マウス操作、キー入力を抑止(できなく)することができます
抑止モード	オペレーションPCからは操作することができません。リモートPCからは操作可能です

枠の表示方法を変えるには

- 1). 「WinShareユーティリティ」ダイアログボックスの「表示枠」タブをマウスでクリックします。
- 2). それぞれのモードに対して、枠の太さと色を設定することができます。太さは「なし」、「細い」、「太い」のいずれかから選択します。選択したい太さのラジオボタンをクリックしてください。
- 3). 色は、[枠の色]が表示されている右横の[色の変更...]ボタンをクリックすると表示される、[色の設定ダイアログ]で変更します。好きな色をクリックしてから、[OK]ボタンをクリックしてください。色を変更たくない場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。
- 4). 枠は画面の上下左右の4辺に表示できます。デフォルトの設定では、枠は画面の4辺に表示されますが、上下左右のいずれの辺も消してしまって枠なしにすることも可能です。[表示位置]に表示されている、[上]、[下]、[右]、[左]のボタンのチェックされている部分の枠が表示されます。表示/非表示を切り替えたい場合は、切り替えたい枠に対応するボタンをクリックしてください。
- 5). 終了するためには、[OK]ボタンをクリックします。



10.4 WinShare ユーティリティ (Ver4.0)

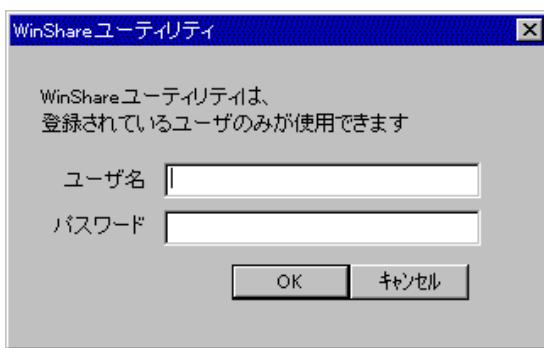
セキュリティ設定は、リモート PC にインストールされている「WinShare ユーティリティ」を使って行います。WinShare ユーティリティで設定できる動作は、以下の項目です。

セキュリティ設定	このPCに WinShareを利用して接続するPCやユーザのアクセスを制御する方法を設定します
ユーザ管理	セキュリティ設定で利用するユーザ情報を登録します
アクセスホスト	セキュリティ設定で利用するPC情報を登録します
共有領域	リモートから操作可能な領域を設定します
操作権	キー入力やマウス操作など、可能な操作を設定します
リモートコマンド	このPC上で実行される、リモートコマンドを登録します
ログ設定	WinShareの動作を記録するログを設定します
表示枠	WinShareの現在の動作を表示する枠を設定します

10.4.1 ユーティリティの起動

Windows XP/2000/NT上で、WinShareユーティリティを使用するためには、**Administrators グループに所属するユーザでWindows XP/2000/NTにログオンする必要があります**。Windows Me, Windows98, Windows95では、この制限はありません。

WinShareユーティリティは、WinShareユーティリティに登録したユーザのみが利用できます。起動時にユーザ名とパスワードを入力するダイアログを出力しますので、WinShareユーティリティのユーザ管理で登録されたユーザ名とパスワードを入力してください。



WinShare ユーティリティ・パスワードダイアログ

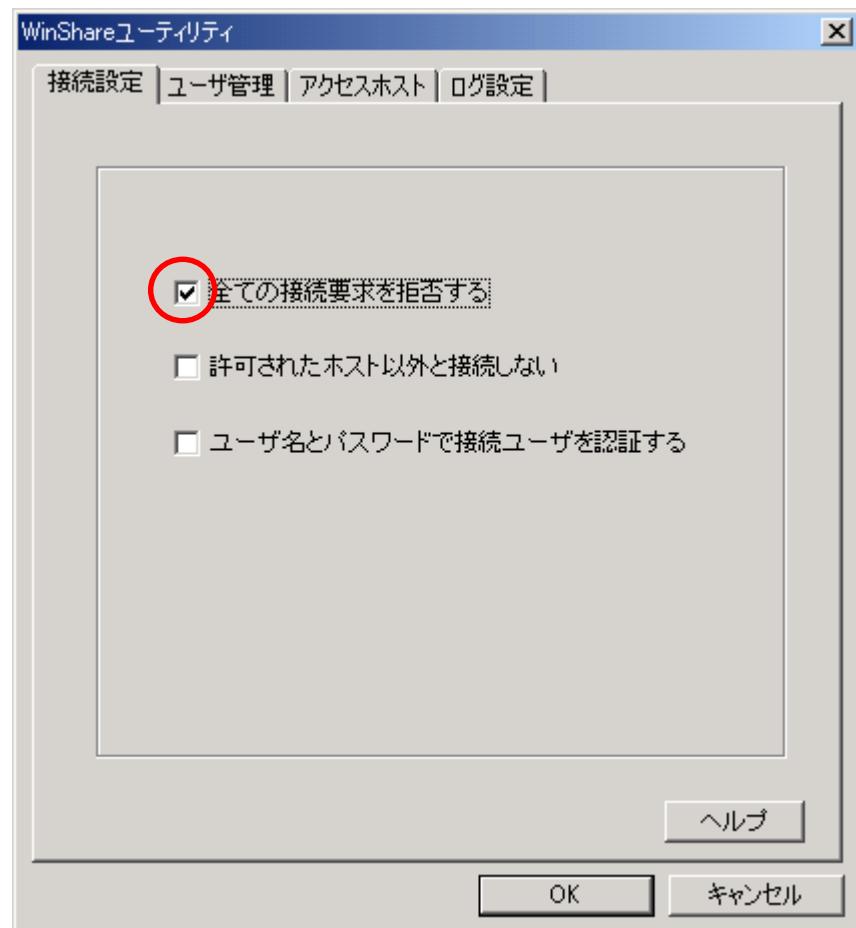
<OK>ボタンをクリックし、ユーザとパスワードが認証されると、WinShareユーティリティが開始されます。中止する場合には、<キャンセル>ボタンをクリックしてください。

10.4.2 セキュリティ設定

リモートPCを遠隔操作するユーザを確認する方法を設定します。接続時の確認方法として、以下の方法を複数選択して設定することができます。

10.4.2.1 全ての接続を拒否

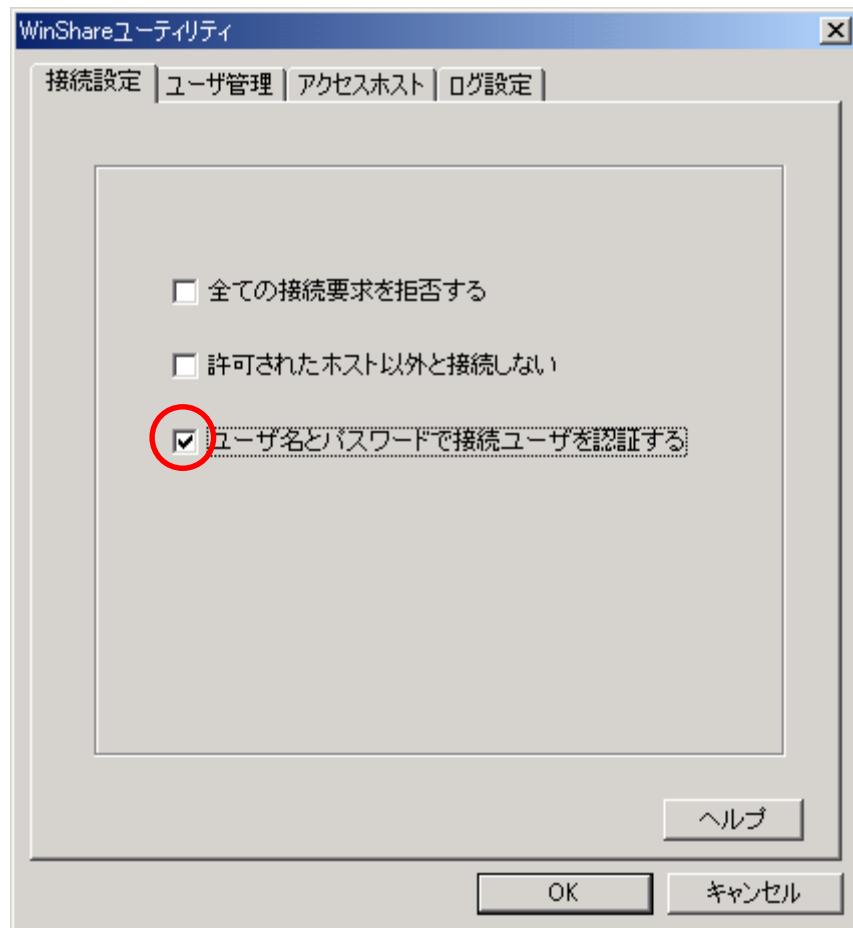
このチェックボタンをチェックすると、いかなるマシンからも本リモートPCに接続することはできません。



接続要求拒否の設定

10.4.2.2 パスワード認証

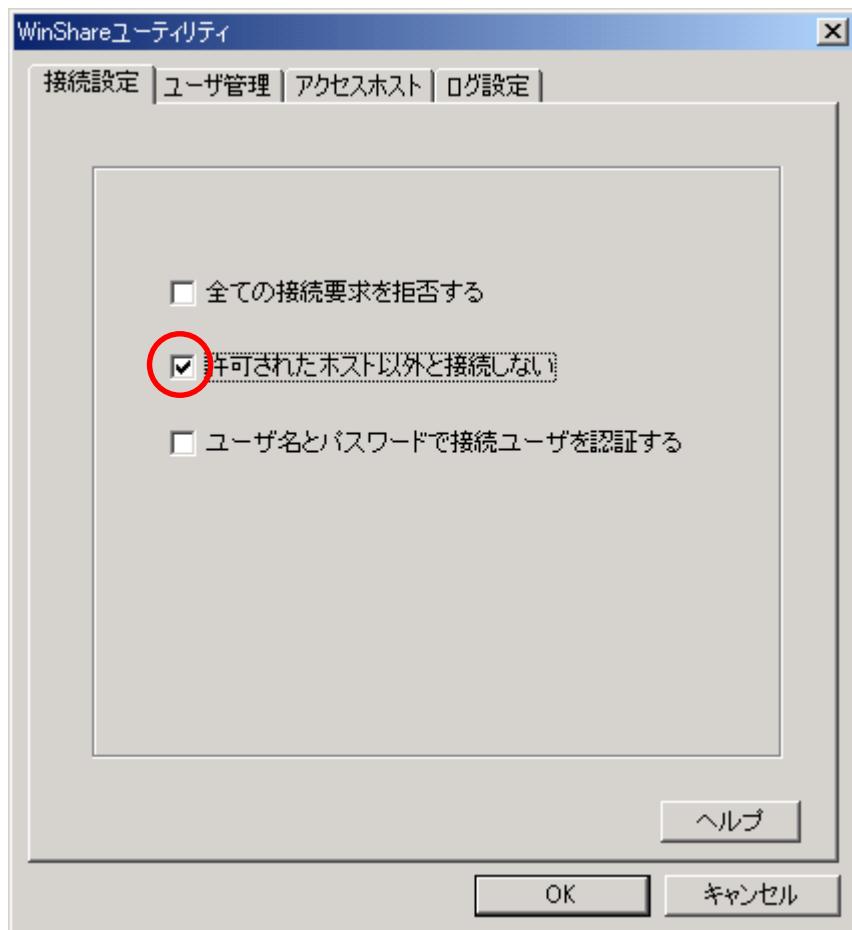
このチェックボタンをチェックするとユーザ管理に登録されたユーザ名とパスワードによる、ユーザの認証を行います。チェックしない場合はユーザ名とパスワードによる認証は行いません。



パスワード認証の設定

10.4.2.3 接続ホストの認証

このチェックボタンをチェックするとアクセスホストに登録されたPC（オペレーションPC）以外からの接続はすべて拒否します。チェックしない場合はアクセスホストによる認証は行いません。



接続ホスト認証の設定

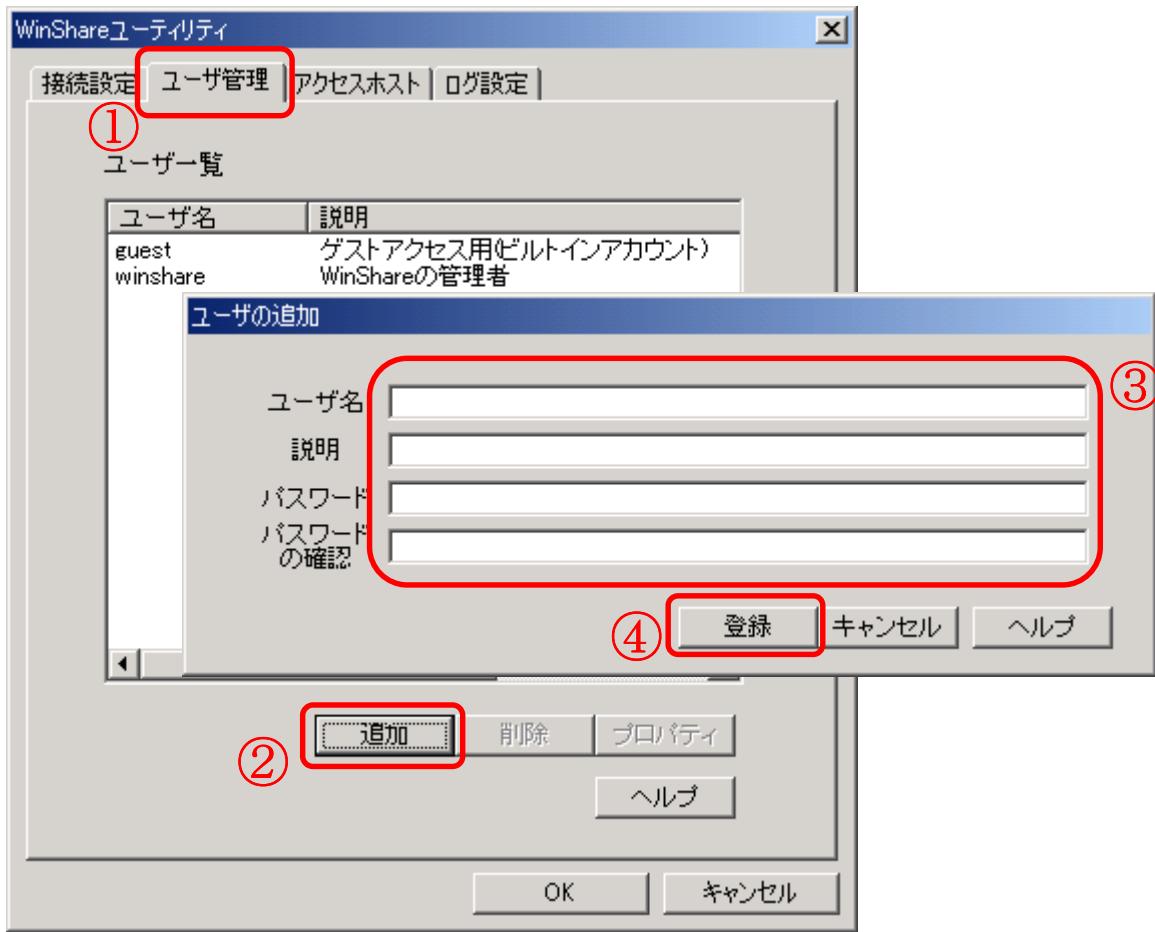
10.4.3 ユーザの管理

ユーザ管理は、WinShareを使用してこのPCに接続できるユーザの登録や削除、パスワードの変更を行います。また、ユーザ毎に操作権、共有領域、表示枠の設定を行います。

10.4.3.1 ユーザを登録するには

WinShareからの接続を許可するユーザ及び、WinShareユーティリティを利用するユーザを登録します。

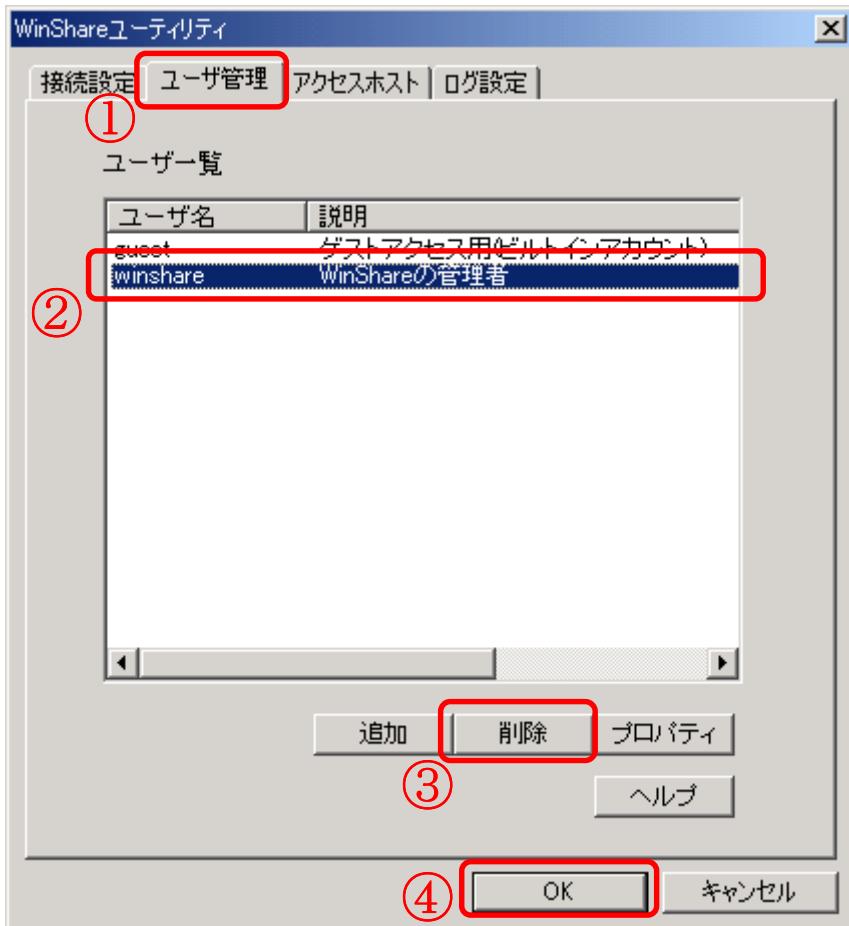
- 1) [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの [ユーザ管理] タブをマウスでクリックします。
- 2) [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が [ユーザ管理] の表示に変わります。
<追加>ボタンをクリックします。
- 3) [ユーザの追加] ダイアログボックスが表示されますので、[ユーザ名], [パスワード] を入力します。パスワードは、確認のため [パスワード再入力] に再度入力する必要があります。必要に応じて、ユーザの説明を [説明] に入力します。
- 4) ユーザを登録する場合には<登録>ボタンをクリックします。登録を中止する場合には<キャンセル>ボタンをクリックします。引き続き登録をおこなう場合には、<追加>ボタンをクリックします。



ユーザの登録

10.4.3.2 ユーザを削除するには

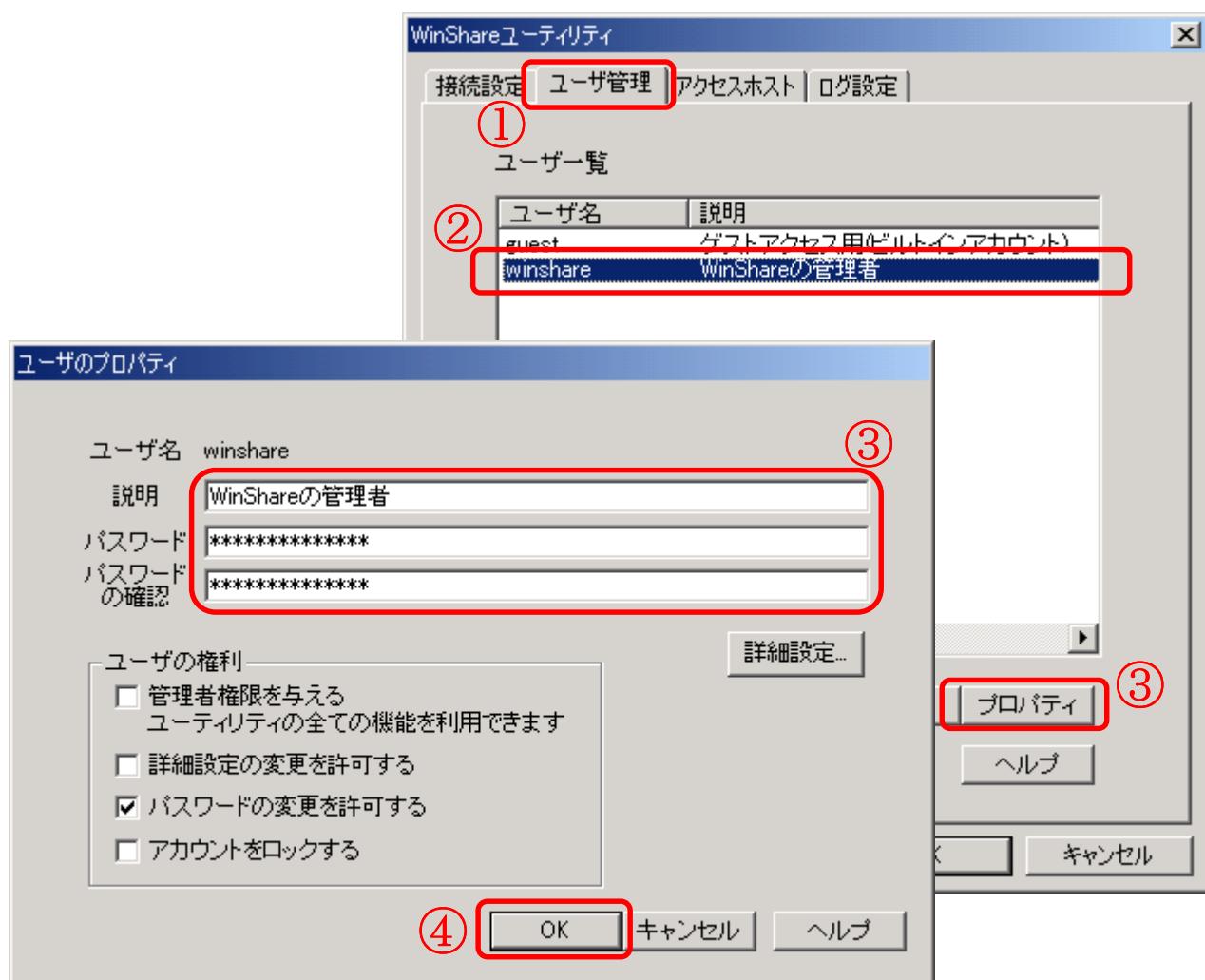
- 1) [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの [ユーザ管理] タブをマウスでクリックします。
- 2) [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が [ユーザ管理] になります。WinShare ユーザー一覧から削除したいユーザをマウスでクリックします。ユーザは反転されてマークされます。
- 3) マークしたユーザを削除するには、<削除>ボタンをクリックします。削除が完了すれば、WinShareユーザー一覧からユーザが削除されます。
- 4) 終了するためには、<OK>ボタンをクリックします。引き続き削除をおこなう場合には、WinShare ユーザー一覧から削除したいユーザをマウスでクリックし、マークします。



ユーザの削除

10.4.3.3 パスワードを変更するには

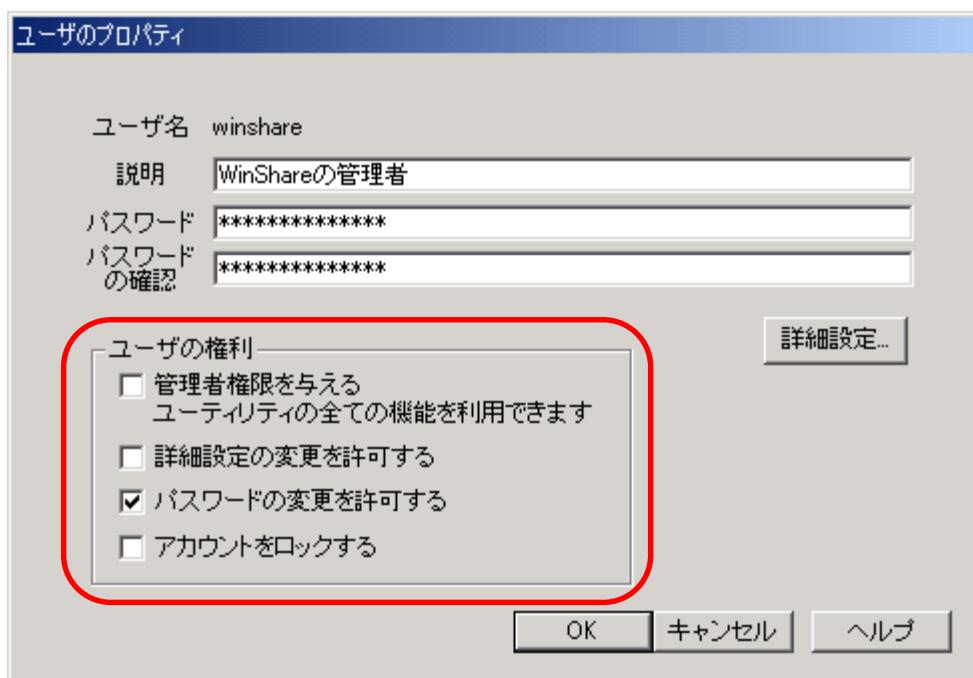
- 1). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの [ユーザ管理] タブをマウスでクリックします。
- 2). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が [ユーザ管理] になります。パスワードを変更したいユーザをWinShareユーザー一覧から選択し、マウスでクリックします。選択されたユーザは反転されてマークされます。
- 3). 次に<プロパティ>ボタンをクリックします。 [ユーザのプロパティ] ダイアログボックスが表示されますので、 [パスワード] ボックスに変更したいパスワードをキーボードから入力します。パスワードは、確認のため[パスワードの確認]に再度キーボードから入力する必要があります。
- 4). 変更したパスワードを登録するには<OK>ボタンをクリックします。変更を中止する場合には<キャンセル>ボタンをクリックします。引き続き変更をおこなう場合には、2) ~ 4) の作業を繰り返してください。



登録内容の修正

10.4.3.4 ユーザの権利を設定するには

- 1). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの [ユーザ管理] タブをマウスでクリックします。
- 2). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が [ユーザ管理] になります。ユーザの権利を設定したいユーザをWinShareユーザー一覧から選択し、マウスでクリックします。選択されたユーザは反転されてマークされます。
- 3). 次に<プロパティ>ボタンをクリックします。 [ユーザのプロパティ] ダイアログボックスが表示されますので、設定したい権利のチェックボックスをチェックしてください。
- 4). <OK>ボタンをクリックしてください。変更を中止する場合には<キャンセル>ボタンをクリックします。引き続き変更をおこなう場合には、2) ~ 4) の作業を繰り返してください。



■ 管理者権限を与える

このチェックボックスをチェックすると、WinShareユーティリティの全ての機能を利用できるようになります。

また、このチェックボックスをチェックすると、[詳細設定の変更を許可する]と[パスワードの変更を許可する]のチェックボックスは強制的にチェックされ、ユーザが選択できなくなります。

■ 詳細設定の変更を許可する

このチェックボックスをチェックすると、WinShareユーティリティにログインしたユーザ自身の接続時の操作設定を変更することができます。

■ パスワードの変更を許可する。

このチェックボックスをチェックすると、ユーザのパスワードおよび説明を変更するこ

とができます。

ユーザを追加した直後、追加されたユーザは、このチェックボックスのみがチェックされています。

■ アカウントをロックする

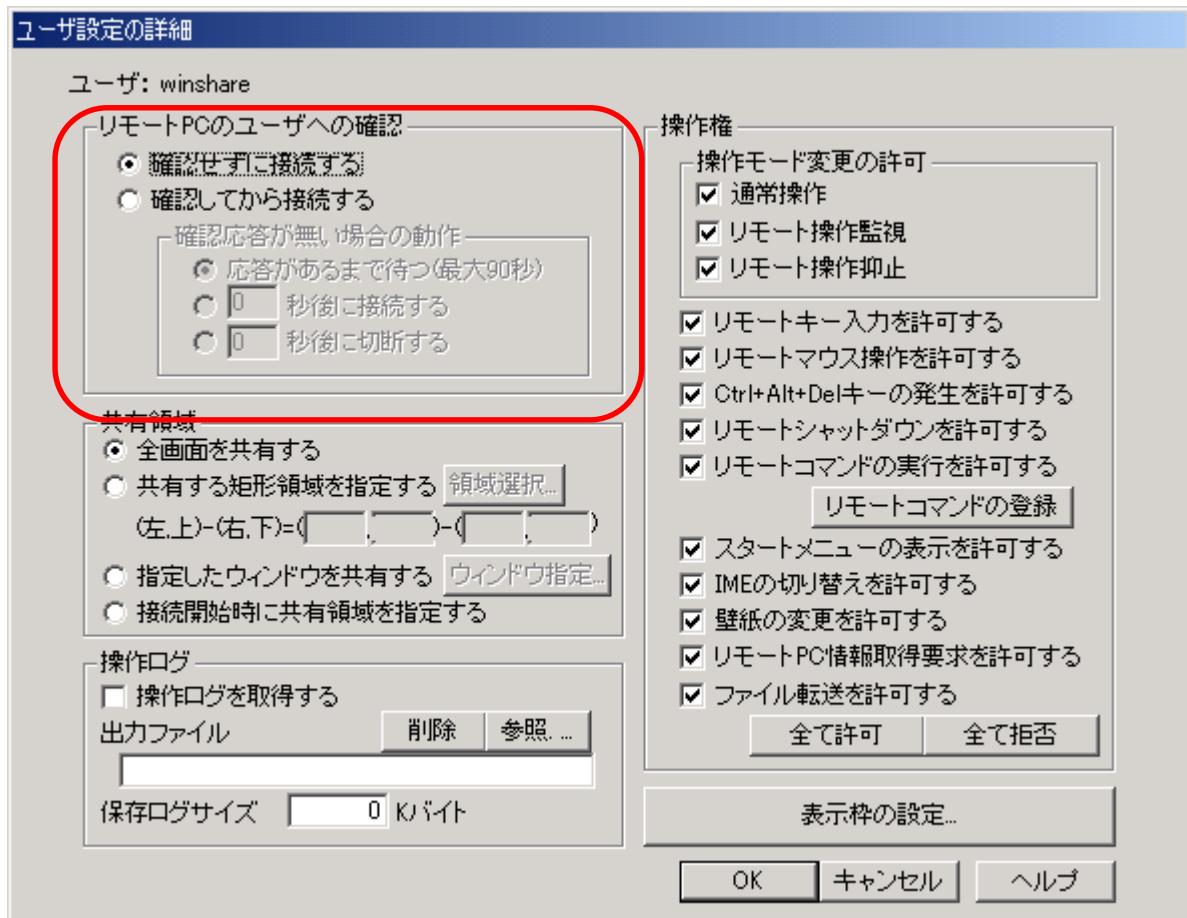
このチェックボックスがチェックされると、ユーザはユーティリティを使用することができなくなり、オペレーションPCから接続することもできなくなります。

なお、このチェックボックスのチェックが外れるまで、他のチェックボックスは変更できません。

10.4.4 接続時の確認

リモートPCのユーザに対して、オペレーションPCからの接続要求を確認することができます。

- 1). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの [ユーザ管理] タブをマウスでクリックします。
- 2). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が [ユーザ管理] になります。接続時の確認動作を変更したいユーザをWinShareユーザー一覧から選択し、マウスでクリックします。選択されたユーザは反転されてマークされます。
- 3). 次に<プロパティ>ボタンをクリックします。 [ユーザのプロパティ] ダイアログボックスが表示されますので、<詳細設定>ボタンをクリックしてください。
- 4). [ユーザ設定の詳細] ダイアログボックスが表示されます。 [リモートPCのユーザへの確認] を変更して、<OK>ボタンをクリックしてください。変更を中止する場合には<キャンセル>ボタンをクリックします。引き続き変更をおこなう場合には、2) ~ 4) の作業を繰り返してください。



■ 確認せずに接続する

接続要求を受信したリモートPCのユーザに確認することなく、接続します。

■ 確認してから接続する

接続要求を受信したリモートPCの画面にダイアログを表示して、接続を許可するかリモートPCのユーザに問い合わせます。この確認ダイアログは、リモートPCのユーザからの応答が無い場合の動作を次の3通りから選択できます。

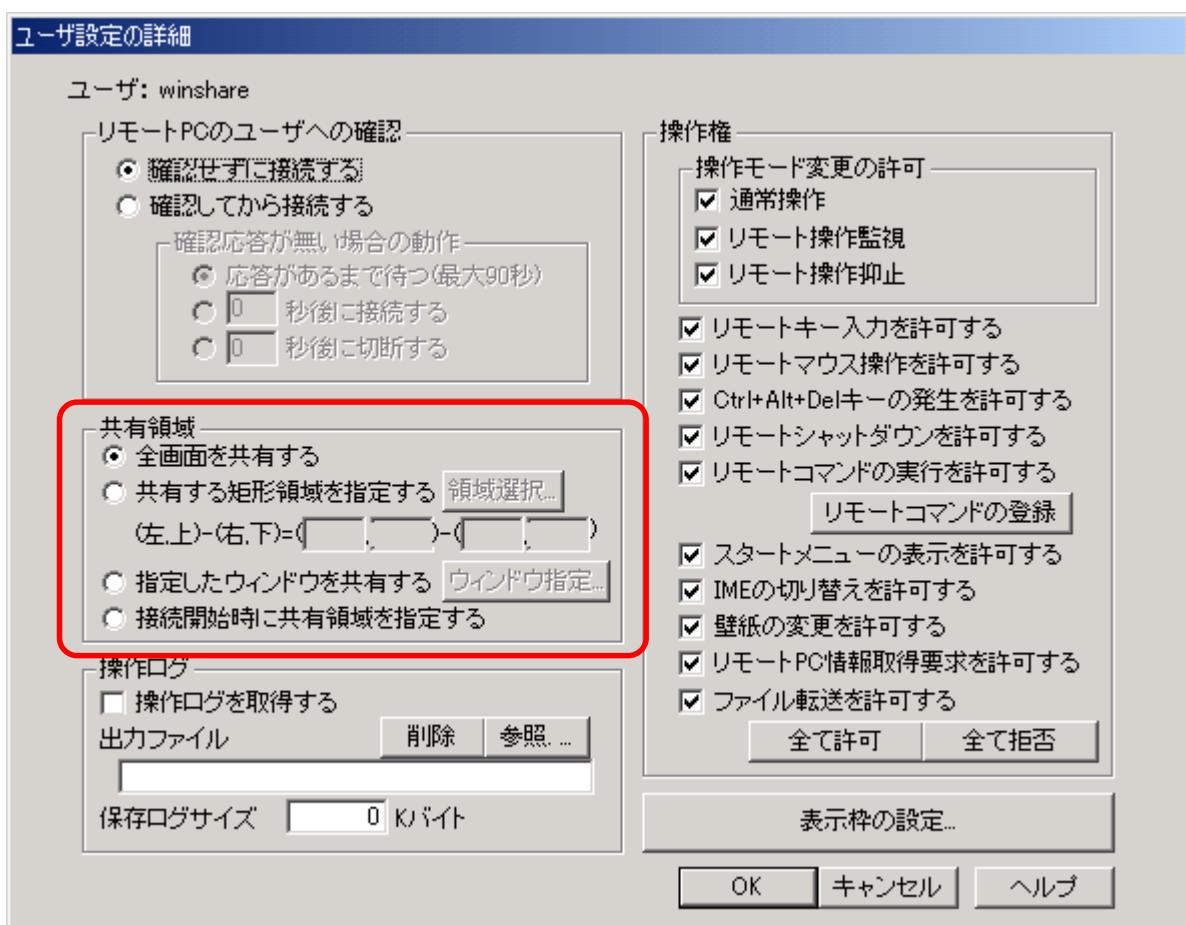
- ・ 応答があるまで待つ
- ・ 一定時間後に接続する
- ・ 一定時間後に切断する

10.4.5 共有領域

接続ユーザに対して、共有する領域を限定することができます。

- 1). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの [ユーザ管理] タブをマウスでクリックします。

- 2). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が [ユーザ管理] になります。共有領域を変更したいユーザをWinShareユーザ一覧から選択し、マウスでクリックします。選択されたユーザは反転されてマークされます。
- 3). 次に<プロパティ>ボタンをクリックします。 [ユーザのプロパティ] ダイアログボックスが表示されますので、<詳細設定>ボタンをクリックしてください。
- 4). [ユーザ設定の詳細] ダイアログボックスが表示されます。 [共有領域] を変更して、<OK>ボタンをクリックしてください。変更を中止する場合には<キャンセル>ボタンをクリックします。引き続き変更をおこなう場合には、2) ~ 4) の作業を繰り返してください。



■ 全画面を共有する

接続ユーザは常にリモートPCの全画面を共有します。

■ 共有する矩形領域を指定する

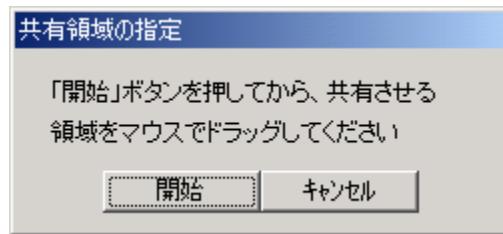
接続ユーザは常にリモートPCの指定された矩形領域のみを共有します。

このチェックボックスをチェックすると、矩形を入力するフィールドに値が入力できるようになります。また<領域選択>ボタンが押せるようになります。

(左,上)-(右,下)に直接、共有する領域をスクリーン座標で入力するか、<領域選択>ボタンを押して領域を選択してください。

<領域選択>]ボタンを押すと、 [共有領域の指定] ダイアログボックスが表示されます

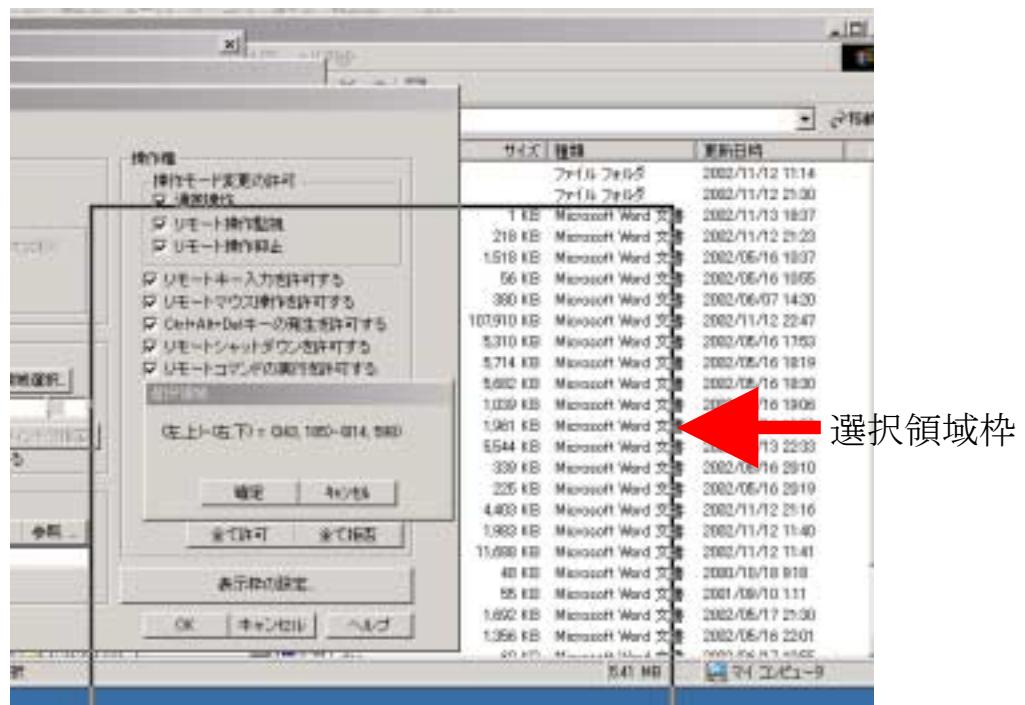
ので、<開始>ボタンを押してください。<キャンセル>ボタンを押すと矩形領域の選択は中止されます。



[共有領域の指定] ダイアログボックスで[開始]ボタンを押した場合は、[選択領域] ダイアログボックスが表示されますので、画面上の共有したい領域をマウスでドラッグしてください。



選択中は選択した領域が枠で囲まれ、座標が[選択領域] ダイアログボックスに表示されます。



共有する領域が決定したら、[確定]ボタンを押してください。[キャンセル]ボタンを押すと、領域選択は中止します。

[確定]ボタンを押すと、「ユーザ設定の詳細」ダイアログの共有座標に矩形領域が反映されます。

■ 指定したウィンドウを共有する

接続ユーザは常にリモートPCの指定されたウィンドウのみを共有します。このチェックボックスをチェックすると、<ウィンドウ指定>ボタンが押せるようになります。<ウィンドウ指定>ボタンを押すと、[共有ウィンドウの指定]ダイアログが表示されます。



共有するウィンドウのキャプション(ウィンドウタイトル)とウィンドウクラスを入力してください。ウィンドウのキャプションとクラスは、どちらか片方を省略することができます。片方を省略した場合は、他方の一致だけを調べます。

[登録]ボタンを押すと入力したクラス、キャプションが登録され、「共有ウィンドウ一覧」に表示されます。

登録されている共有ウィンドウを削除するには、共有ウィンドウ一覧から、削除したい共有ウィンドウをクリックします。[削除]ボタンを押すと、反転表示している共有ウィンドウが削除されます。

ウィンドウキャプションとクラスには、メタキャラクタ'*','?'が使用できます。

*: 任意の文字列

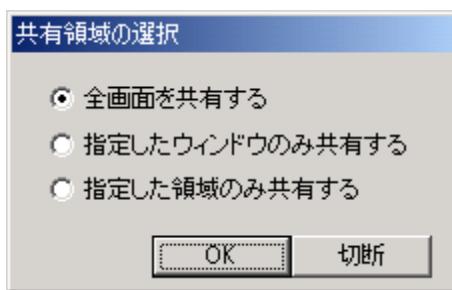
? : 任意の1文字列

注意： [共有ウィンドウの指定] ダイアログボックスで登録、または削除した共有ウィンドウを [ユーザ設定の詳細] ダイアログボックスや、 [ユーザのプロパティ] ダイアログの<キャンセル>ボタンで取り消すことはできません。

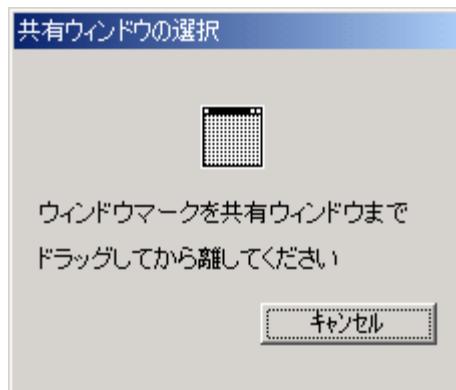
■ 接続開始時に共有領域を指定する

あらかじめ共有方式や、共有領域を決めずに、接続時にリモートPCのオペレータが共有方式や領域を指定することができます。この設定で接続した場合には、リモートPCに[共有領域の選択] ダイアログが表示されます。リモートPCのオペレータは、共有方法を指定して<OK>ボタンを押してください。共有させたくない場合は、<切断>ボタンを押してください。

リモートPCのオペレータが共有方法を指定するまで接続は開始されません。



[共有領域の選択] ダイアログボックスにおいて、[指定したウィンドウのみを共有する] を選択して<OK>ボタンを押した場合には、[共有ウィンドウの選択] ダイアログボックスが表示されます。



ウィンドウのマークを共有させるウィンドウの上までドラッグしてください。

マウスを離すと、[共有ウィンドウの確認] ダイアログが表示されますので、選択されたウィンドウが正しければ、<開始>ボタンを押してください。WinShareの接続が開始されます。

選択しなおすには[再選択]ボタンを押してください。

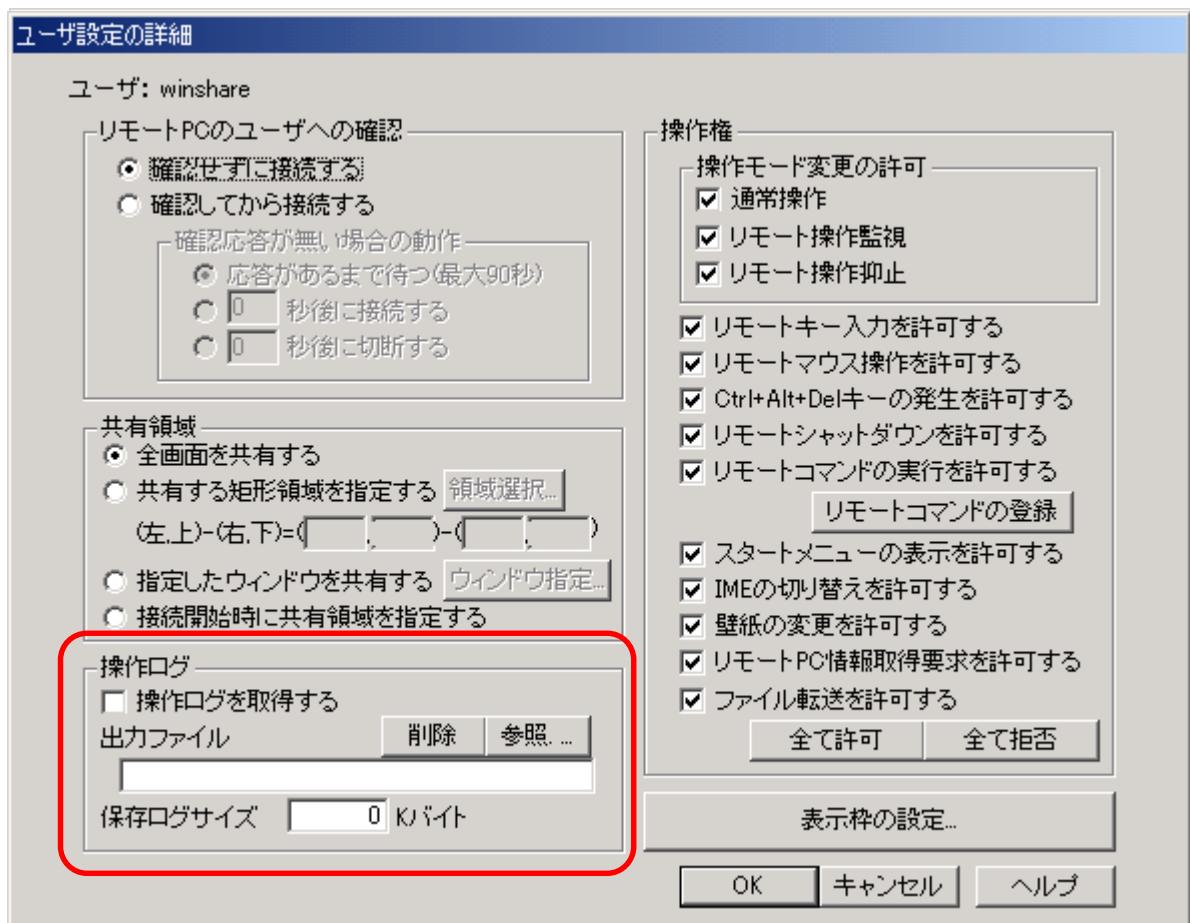


[共有領域の選択] ダイアログボックスにおいて、[指定した領域のみ共有する] を選択して<OK>ボタンを押した場合のインターフェースは、[ユーザ設定の詳細] ダイアログボックスで<領域選択>ボタンを押したときのインターフェースと同じです。

10.4.6 操作ログ

遠隔操作中のリモートマウス、リモートキー操作の履歴をユーザ毎に残すための設定を行います。

- 1). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの [ユーザ管理] タブをマウスでクリックします。
- 2). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が [ユーザ管理] になります。操作ログを変更したいユーザをWinShareユーザ一覧から選択し、マウスでクリックします。選択されたユーザは反転されてマークされます。
- 3). 次に<プロパティ>ボタンをクリックします。 [ユーザのプロパティ] ダイアログボックスが表示されますので、<詳細設定>ボタンをクリックしてください。
- 4). [ユーザ設定の詳細] ダイアログボックスが表示されます。 [操作ログ] を変更して、<OK>ボタンをクリックしてください。変更を中止する場合には<キャンセル>ボタンをクリックします。引き続き変更をおこなう場合には、2) ~ 4) の作業を繰り返してください。



■ 操作ログを取得する

「操作ログを取得する」をチェックし、出力ファイル欄にフルパスでファイル名を入力してください。<参照>ボタンで表示される [ログファイルの参照] ダイアログボックスでファイルを指定することも可能です。

保存ログサイズを0KBバイト以上の値に設定すると、古いログから順に削除して、指定されたサイズ以下になるように調整されます。

0KBバイトを指定した場合、ログサイズは自動的に調整されません。

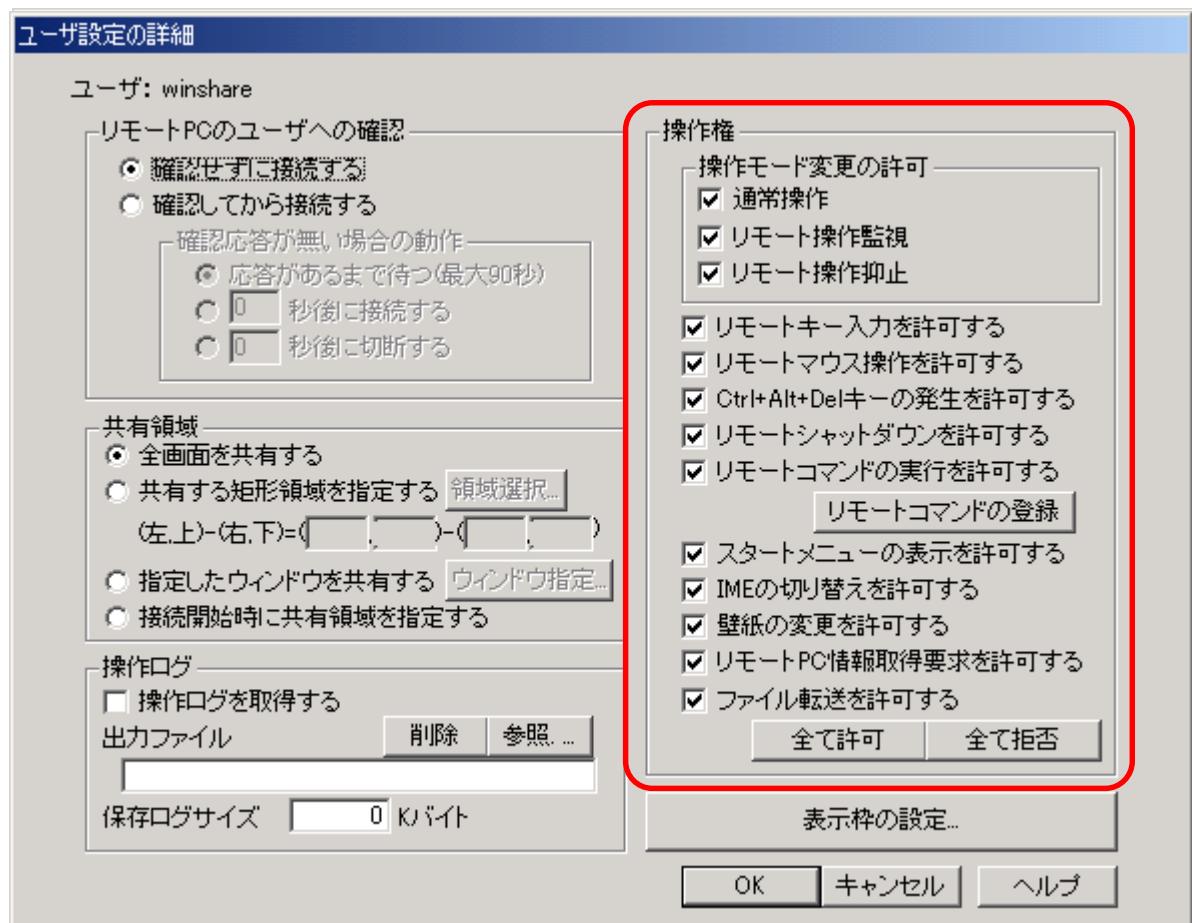
<削除>ボタンをクリックすると、ログが削除されます。

10.4.7 操作権

接続ユーザに対して、共有時の操作を制限することができます。

1. [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの [ユーザ管理] タブをマウスでクリックします。
2. [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が [ユーザ管理] になります。操作権を変更したいユーザをWinShareユーザー一覧から選択し、マウスでクリックします。選択されたユーザは反転されてマークされます。

- 3). 次に<プロパティ>ボタンをクリックします。[ユーザのプロパティ] ダイアログボックスが表示されますので、<詳細設定>ボタンをクリックしてください。
- 4). [ユーザ設定の詳細] ダイアログボックスが表示されます。[操作権] を変更して、<OK>ボタンをクリックしてください。変更を中止する場合には<キャンセル>ボタンをクリックします。引き続き変更をおこなう場合には、2) ~ 4) の作業を繰り返してください。



■ 操作モード変更の許可

通常操作、リモート操作監視、リモート操作抑止の各モードへの切り替え許可を指定できます。ただし、最低1つのモードを許可してください。各モードの説明は、「10.4.9 表示枠の設定」を参照してください。

■ リモートキー入力を許可する

リモートPCへのキー入力を制限できます。操作モードが通常操作モードやリモート操作抑止モードでもオペレーションPCからのキー入力は無視されます。

■ リモートマウス操作を許可する

リモートPCへのマウス操作を制限できます。操作モードが通常操作モードやリモート操作抑止モードでもオペレーションPCからのマウス操作は無視されます。

■ Ctrl+Alt+Delキーの発生を許可する

WinShareには、リモートPCがWindows NT4.0、Windows 2000、Window XPの場

合、「Ctrl+Alt+Del」を発生させる機能がありますが、この機能を制限させることができます。

■ リモートシャットダウンを許可する

WinShareのリモートシャットダウン機能を制限できます。ただし、マウス操作によって、スタートメニューやWindowsのセキュリティダイアログ等から実行されたシャットダウンは制限されません。

■ リモートコマンドの実行を許可する

登録されたリモートコマンドの実行を制限できます。リモートコマンドの実行が制限されている場合、オペレーションPCには登録されたリモートコマンドの情報は表示できません。リモートコマンドの登録については、「10.4.8.リモートコマンドの登録」を参照してください。

■ スタートメニューの表示を許可する

WinShareのスタートメニュー表示機能を制限できます。ただし、マウス操作によるスタートメニューの表示は制限されません。

■ IMEの切り替えを許可する

WinShareのIME切り替え機能を制限できます。ただし、マウス操作によるIME切り替えは制限されません。

■ 壁紙の変更を許可する

WinShareでは、データ量を減少させるために背景を黒の壁紙に変更する機能がありますが、この機能を制限させることができます。ただし、マウス操作による、「Windowsの画面のプロパティ」からの壁紙変更を制限することはできません。

■ リモートPCの情報取得要求を許可する

リモートPCのOSやログオンユーザ名などのシステム情報の取得要求を制限することができます。

■ ファイル転送を許可する

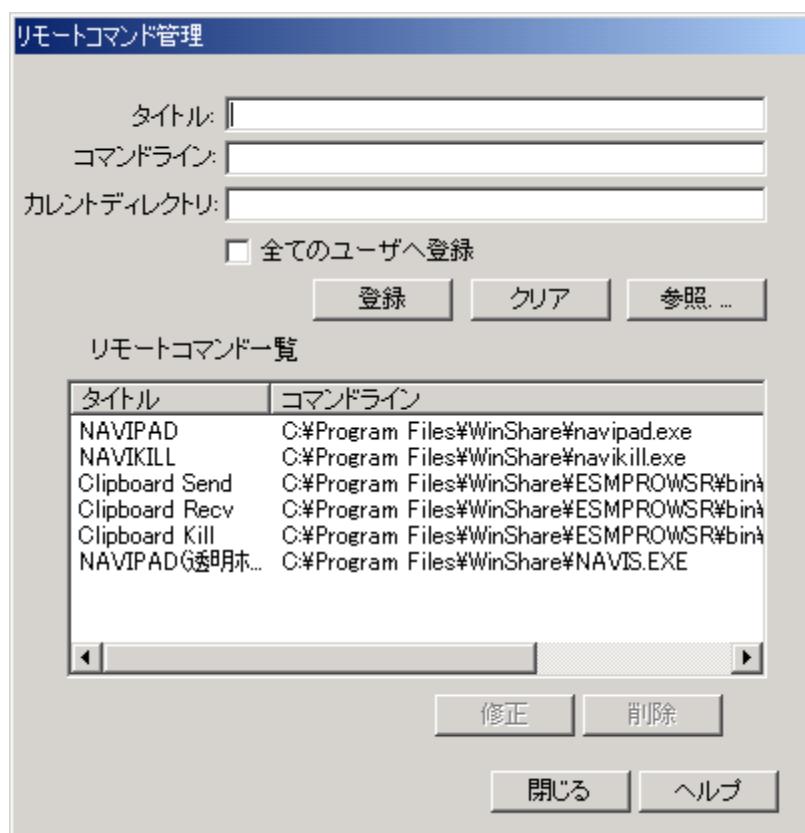
WSFTを使用したファイル転送機能を制限できます。

10.4.8 リモートコマンドの登録

WinShareを使用した遠隔操作中に、このPCでWinShareから実行されるリモートコマンドを登録することができます。ただし、接続ユーザの操作権でリモートコマンドの実行が制限されている場合には、登録されたリモートコマンドを実行することはできません。

- 1). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの [ユーザ管理] タブをマウスでクリックします。
- 2). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が [ユーザ管理] になります。リモートコマンドを登録したいユーザをWinShareユーザ一覧から選択し、マウスでクリックします。選択されたユーザは反転されてマークされます。

- 3). 次に<プロパティ>ボタンをクリックします。[ユーザのプロパティ]ダイアログボックスが表示されますので、<詳細設定>ボタンをクリックしてください。
- 4). [ユーザ設定の詳細]ダイアログボックスが表示されます。[操作権]の中にある<リモートコマンドの登録>ボタンをクリックしてください。
- 5). [リモートコマンド管理]ダイアログボックスが表示されます。[タイトル]、[コマンドライン]、[カレントディレクトリ]を全て入力して<登録>ボタンを押してください。登録時に[全てのユーザへ登録]が選択されていれば、登録されている全てのユーザに対して設定されている値をリモートコマンドとして登録します。
[タイトル]は、リモートコマンドの識別記号です。一意なタイトル名を入力してください。
また、<参照>ボタンで表示されるファイルの参照ダイアログでファイルを指定することも可能です。この場合は、タイトルに実行ファイル名、コマンドラインにフルパスのファイル名、カレントディレクトリに実行ファイルの置かれているディレクトリ名が入力されます。必要に応じて修正してください。
- 6). 登録済みのリモートコマンドを変更する場合は、リモートコマンド一覧からコマンドを選択して、<修正>ボタンをクリックしてください。[タイトル]、[コマンドライン]、[カレントディレクトリ]に選択したコマンドの内容が表示されますので、変更して<登録>ボタンをクリックしてください。
- 7). 登録済みのリモートコマンドを削除する場合は、リモートコマンド一覧から削除するコマンドを選択して<削除>ボタンをクリックしてください。
- 8). 作業が終わりましたら、<閉じる>ボタンを押してください。



注意：インストール時に登録されている「NAVIPAD」の内容を変更したり、削除するとオペレーションPCの「NAVIPADボタン」が利用できなくなる場合があります。

【リモートコマンド管理】ダイアログボックスで登録、修正、または削除したリモートコマンドを【ユーザ設定の詳細】ダイアログボックスや、【ユーザのプロパティ】ダイアログボックスの＜キャンセル＞ボタンで取り消すことはできません。

10.4.9 表示枠の設定

WinShareによる遠隔操作中であることや、WinShareの操作モードを示す、表示枠の色や太さを設定します。

WinShareには以下の3つのモードがあり、それぞれについて現在のモードを画面に枠として表示することができます。

■ リモート遠隔操作モード

接続してきたPCからも、このPCからも操作が可能です。

■ リモート操作監視モード

このPCからのみ操作可能です。

接続してきたPCからは操作することができません。

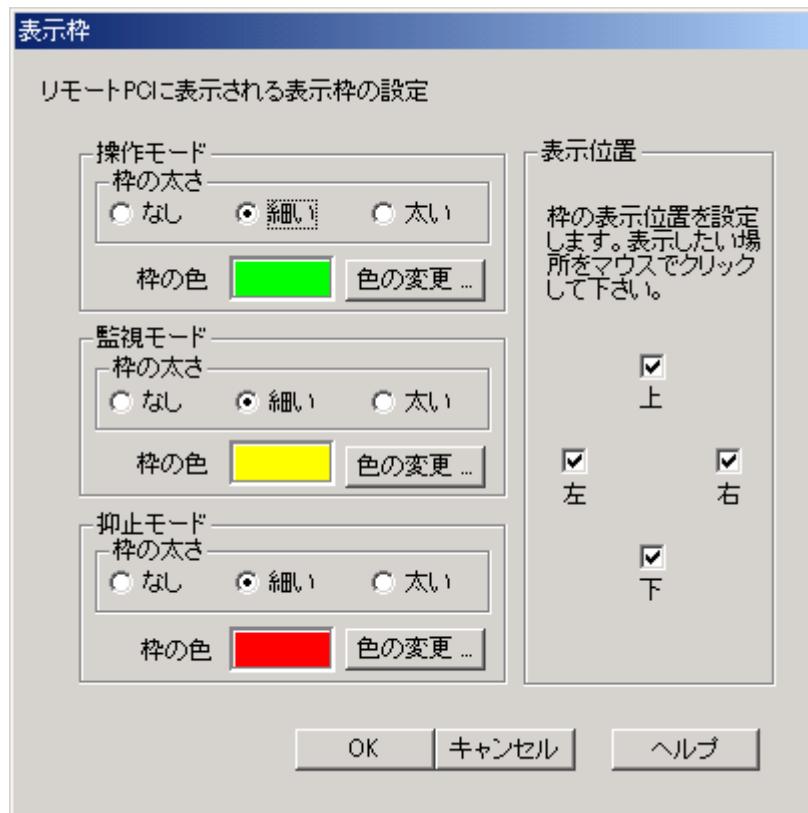
■ リモート操作抑止モード

接続してきたPCからのみ操作が可能です。

このPCからは操作できません。

- 1). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの【ユーザ管理】タブをマウスでクリックします。
- 2). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が【ユーザ管理】になります。表示枠を変更したいユーザをWinShareユーザー一覧から選択し、マウスでクリックします。選択されたユーザは反転されてマークされます。
- 3). 次に＜プロパティ＞ボタンをクリックします。【ユーザのプロパティ】ダイアログボックスが表示されますので、＜詳細設定＞ボタンをクリックしてください。
- 4). 【ユーザ設定の詳細】ダイアログボックスが表示されます。＜表示枠の設定＞ボタンを押してください。
- 5). [表示枠]ダイアログボックスが表示されます。表示枠の設定を行って、＜OK＞ボタンをクリックしてください。変更を中止する場合には＜キャンセル＞ボタンをクリックします。引き続き変更をおこなう場合には、2)～5)の作業を繰り返してください。

注意：【表示枠】ダイアログボックスを＜OK＞ボタンで閉じた場合、表示枠の設定を【ユーザ設定の詳細】ダイアログボックスや、【ユーザのプロパティ】ダイアログボックスの＜キャンセル＞ボタンで取り消すことはできません。



■ 枠の太さ

[なし]、[細い]、[太い] のいずれかから選択します。選択したい太さのラジオボタンをクリックしてください。

■ 色

[枠の色] が表示されている右横の<色の変更>ボタンをクリックすると表示される、[色の設定] ダイアログボックスで変更します。好きな色をクリックしてから、<OK>ボタンをクリックしてください。色を変更したくない場合は、<キャンセル>ボタンをクリックしてください。

■ 表示位置

枠は画面の上下左右の4辺に表示できます。デフォルトの設定では、枠は画面の4辺に表示されますが、上下左右のいずれの辺も消してしまって枠なしにすることも可能です。

[表示位置] に表示されている、[上]、[下]、[右]、[左] のボタンのチェックされている部分の枠が表示されます。表示/非表示を切り替えたい場合は、切り替えたい枠に対応するボタンをクリックしてください。

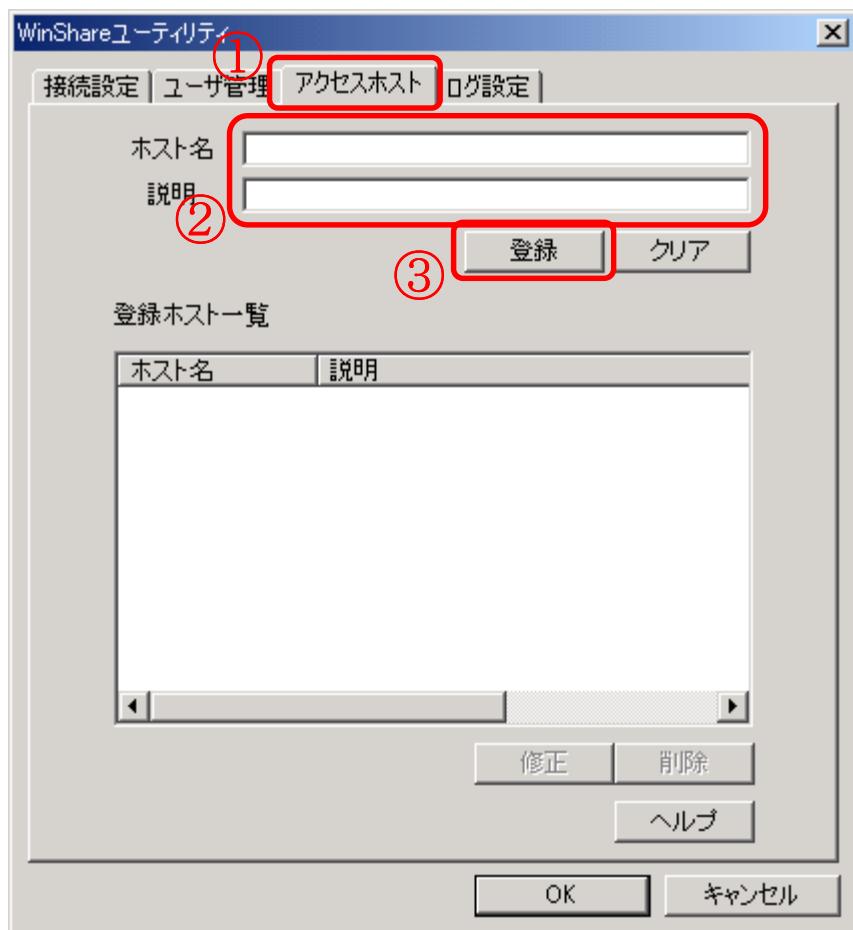
10.4.10 アクセスホスト

アクセスホストでは、WinShareによるこのPCへの接続を許可するPCの名前を登録します。

10.4.10.1 ホストを登録するには

WinShareによるこのPCへの接続を許可するPCを登録します。

- 1) [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの [アクセスホスト] タブをマウスでクリックします。
- 2) [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が [アクセスホスト] になります。[ホスト名] を入力します。必要に応じて、そのPCの説明を[説明]に入力します。すでに登録されているホスト名を入力した場合には、登録されているホストの説明が変更されます。
- 3) ホストを登録する場合には<登録>ボタンをクリックします。登録を中止する場合には<クリア>ボタンをクリックします。
- 4) 引き続き登録をおこなう場合には、[ホスト名]を入力します。

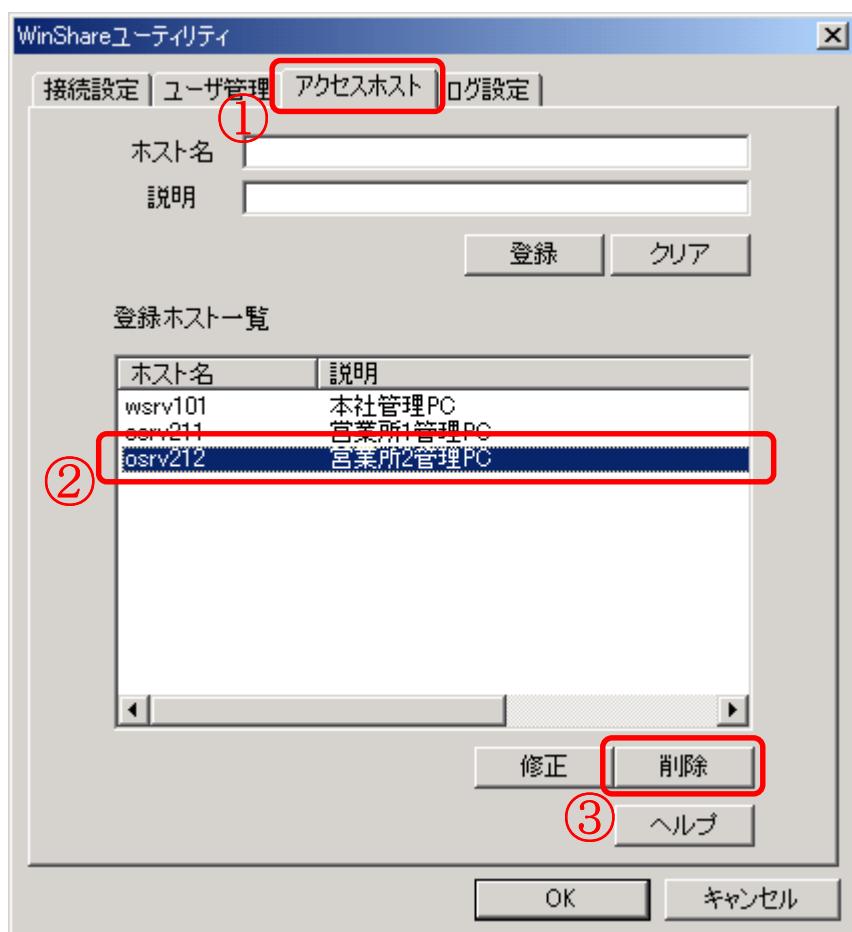


アクセスホストの登録

10.4.10.2 ホストを削除するには

WinShareによるこのPCへの接続が許可されているホストを削除します。

- 1) . [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの [アクセスホスト] タブをマウスでクリックします。
- 2) . [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が [アクセスホスト] になります。登録ホスト一覧から削除したいホスト名をマウスでクリックします。ホスト名は反転されてマークされます。
- 3) . マークしたホストを削除するには、<削除>ボタンをクリックします。削除が完了すれば、登録ホスト一覧からホスト名が削除されます。
- 4) . 終了するためには、<OK>ボタンをクリックします。引き続き削除をおこなう場合には、登録ホスト一覧から削除したいホスト名をマウスでクリックし、マークします。



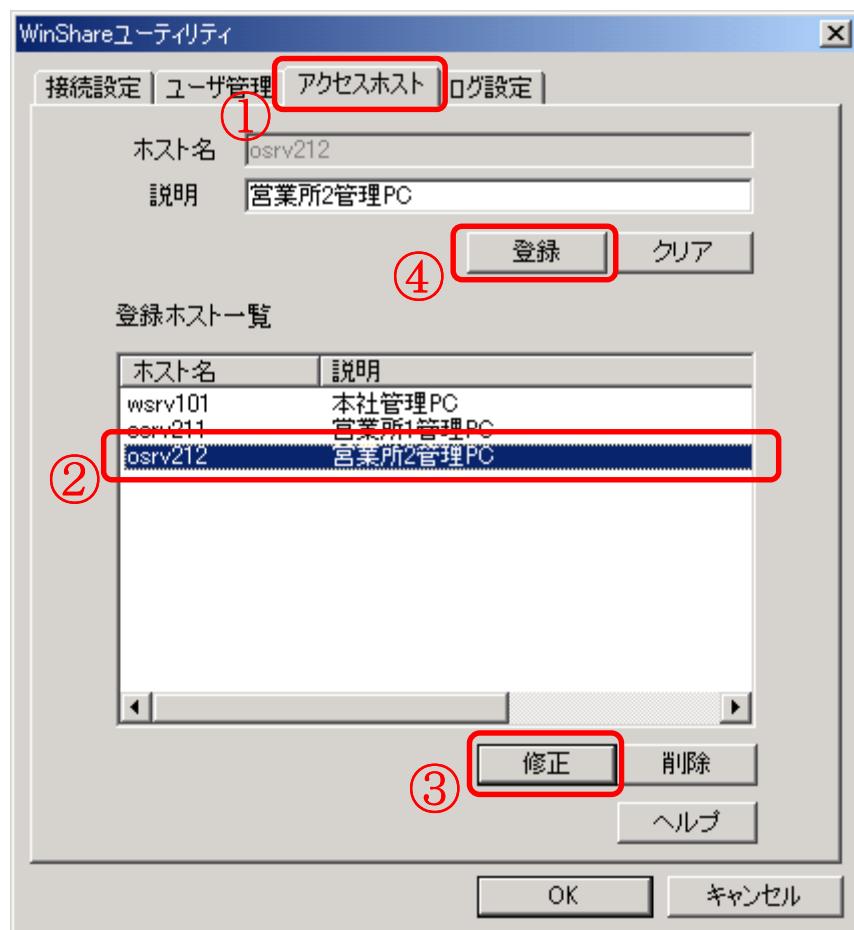
登録されているアクセスホストの削除

10.4.10.3 ホスト登録内容を修正するには

WinShareによるこのPCへの接続が許可されているホストの登録内容を修正します。

- 1) . [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの [アクセスホスト] タブをマウスでクリックします。

- 2). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が [アクセスホスト] になります。登録ホスト一覧から修正したいホスト名をマウスでクリックします。ホスト名は反転されてマークされます。
- 3). マークしたホストを修正するには、<修正>ボタンをクリックします。登録内容が [ホスト名] と [説明] の部分に表示されますので、[説明] の内容を修正して下さい。
- 4). 修正が完了後<登録>ボタンをクリックすると修正後の内容が登録されます。修正を中止する場合は<クリア>ボタンをクリックしてください。
- 5). 終了するためには、<OK>ボタンをクリックします。



登録されているアクセスホストの内容修正

10.4.11 ログ設定

WinShareを使用した遠隔操作の接続状況やリモートコマンドなどの動作状況を記録するための設定をします。

■ログの種類

ログの種類には以下の3種類があります。

セキュリティログ	パスワード認証の失敗など、セキュリティに関する記録を残します。
接続ログ	接続と切断時にオペレーションPC名を記録します。また、何らかの原因でオペレーションPCとの接続に失敗した場合にそのエラー情報を記録します。接続ができない場合などにこのログを残すことでトラブルシューティングが行えます。
コマンド実行履歴ログ	リモートコマンド実行で実行されたコマンドの履歴情報を残します。

■ログ取得の設定

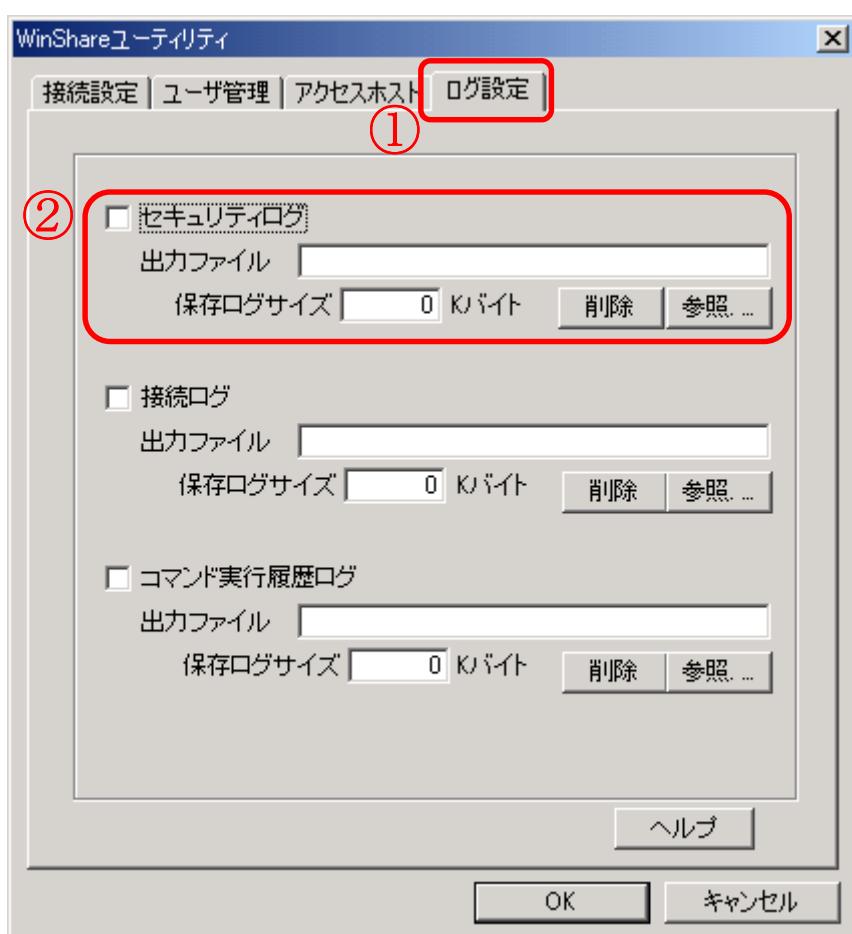
WinShareを使用した遠隔操作の接続状況やリモートコマンドなどの動作状況を記録するための設定をします。

■ログファイルの削除

WinShareを使用した遠隔操作の接続状況やリモートコマンドなどの動作状況の記録を削除します。

10.4.11.1 ログの設定を行うには

- 1). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの [ログ設定] タブをマウスでクリックします。
- 2). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が [ログ設定] になります。 [セキュリティログ] 、 [接続エラーログ] 、 [コマンド実行履歴ログ] のうちログを残したいものについて左端のチェックボタンをチェックし、右側の [出力ファイル欄] に output ファイル名 (フルパス名) を入力してください。 <参照> ボタンで表示される [ログファイルの参照] ダイアログボックスでファイルを指定することも可能です。
- 3). 指定が完了したら、 <OK> ボタンをクリックしてください。



ログの設定

■ 保存ログサイズ

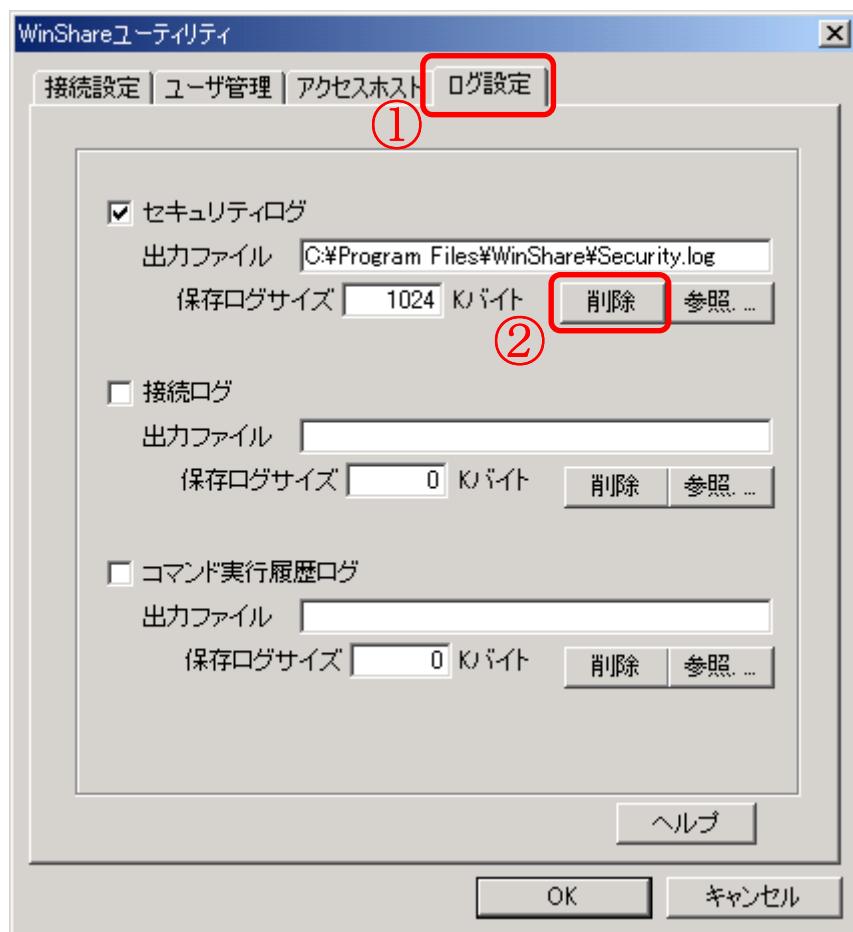
保存ログサイズを0KB以上 の値に設定すると、古いログから順に削除して、指定されたサイズ以下になるように調整されます。

0KBを指定した場合、ログサイズは自動的に調整されません。

注意：ログの設定を変更できるのは、管理者権限のあるユーザのみです。

10.4.11.2 ログファイルを削除するには

- 1). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの [ログ設定] タブをマウスでクリックします。
- 2). [WinShareユーティリティ] ダイアログボックスの表示が [ログ設定] になります。 [セキュリティログ]、[接続エラーログ]、[コマンド実行履歴ログ] のうち削除したいログファイルの <削除> ボタンをクリックします。ボタンをクリックした時点でログファイルは削除されます。



ログファイルの削除

10.5 WinShare を便利に使用する方法

10.5.1 高速にリモートPCを遠隔操作するには

目的の画面まで早く遠隔操作したい場合などは、画像変更で色数および大きさを小さく設定すると、画面イメージの更新時間が短縮でき、スムーズな遠隔操作を行うことができます。

10.5.2 高速にリモートPCの画面イメージを取得するには

リモートPCの画面に自然画のような複雑なイメージが表示されている場合、画面イメージの圧縮効率が低下し、画面イメージの更新に時間がかかります。このような場面においては、画像変更で色数および大きさを小さくして画面イメージを取得して下さい。また、壁紙に自然画のような複雑なイメージが表示されている場合は、「設定」メニューの「動作設定」－「動作変更」で「壁紙を消す（無地の壁紙）」に変更すると、スムーズな遠隔操作を行うことができます。

10.5.3 遠隔操作時、確実に画面イメージの更新を行うには

オペレーションPCからリモートPCを遠隔操作した場合、リモートPCの遠隔操作されたアプリケーションによっては、直ちに反映されない場合があります。このような場面においては、「設定」メニューの「動作設定」－「動作変更」で「更新間隔」を短く（例えば1秒毎に）設定することにより、短い時間間隔で画面イメージが更新されるので、遠隔操作等を確実に行うことができます。

10.5.4 低速回線でも快適に遠隔操作を行うためには

使用する通信回線の転送速度によって、データの転送方式を、「設定」メニューの「動作設定」－「動作変更」の「転送方式」で変更することができます。この変更は、WinShareの動作中に行うことができます。イーサネットのような高速回線の場合にはデータの圧縮を行わない[非圧縮転送]、公衆回線やISDN回線のような低速回線の場合にはデータの圧縮を行う[圧縮転送]を指定したり、更新時間を長く設定したりすることで、遠隔操作を快適に行うことができます。

10.5.5 16ビットアプリケーションを操作するためには

オペレーションPCからリモートPCの16ビットアプリケーションを操作する場合、ウィンドウ内の表示がリアルタイムに更新されません。画面更新が遅く感じられる場合は、動作設定のプロパティで画面更新間隔を短く設定してください。

10.5.6 ユーザ指定のポート番号で WinShare を接続するためには

WinShareは通信のためにTCPのポート番号、5024～5028を使用しています。他のアプリケーションがこれらのポート番号を使用していてWinShareが使用できない場合には、以下に示すレジストリにポート番号を設定してください。

値を設定する場合は次の点に注意してください。

- それぞれの値エントリには、65535以内で異なる値を設定してください
- オペレーションPCとリモートPCで、各値エントリには同一の値を設定してください

以下にポート番号を変更する場合に値を設定するレジストリキーと値エントリ、及びWinShareがデフォルトで使用しているポート番号を示します。(WinShareのセットアップ時には、これらのレジストリに値は設定されていません。デフォルト値で動作するようになっています。)

以下に、WinShareでTCPポート番号を設定するためのレジストリキー、値エントリ、データタイプを示します。

レジストリキー名
HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\NEC\WinShareVer2\Connection\

値の名前	値の型
CustomCtoM	REG_SZ
CustomStoM	REG_SZ
CustomCtoS	REG_SZ
CustomStoG	REG_SZ

WinShareのTCPポート番号を変更する場合の設定例を示します。値エントリCustomCtoSには2つのポート番号を指定する必要があります。2つの番号は、空白文字で区切られていなければなりません。ポート番号の変更は、マシンの再起動により有効になります。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\NEC\WinShareVer2\Connection\

CustomCtoM	REG_SZ20002
CustomStoM	REG_SZ20003
CustomCtoS	REG_SZ20004△20005
CustomStoG	REG_SZ20001

(△:空白文字)

TCP/IP ポート番号の設定例

10.5.7 リモートコマンドの引数にオペレーションPC名やリモートPC名を指定するためには

リモートコマンドのコマンドライン、カレントディレクトリに、オペレーションPC名、リモートPC名と、システム環境変数名を指定することができます。

リモートコマンドでの環境変数利用例

定数名	定数の意味
\$OPERATION_PC	オペレーションPC名
\$REMOTE_PC	リモートPC名
\$(システム環境変数)	リモートPCのシステム環境変数名 (※ユーザ環境変数は利用できません)

リモートコマンドをリモートPCのWinShareユーティリティのリモートコマンドで次の様に登録します。

『接続してきたオペレーションPCにftpする場合』

コマンドライン	\$(windir)\system32\ftp \$OPERATION_PC
カレントディレクトリ	\$(temp)

10.5.8 セキュリティ設定を行うには(セキュリティ設定の優先順位について)

リモートPCに接続する際に、オペレーションPCに対してアクセス制限を設けることができます。この制限は、WinShareユーティリティのセキュリティで設定します。このセキュリティの設定では、4種類のパターンを選択して設定できます。実際の接続時には以下の順序でセキュリティの設定を参照して接続を行います。

- 1). “常に接続を拒否する”のラジオボタンがチェックされているかどうか。
- 2). “接続ホストの確認”のチェックボックスがチェックされていて、接続してきたホスト名が登録されているかどうか。
- 3). “パスワードによる認証を行う”のチェックボックスがチェックされていて、ユーザ名とパスワードによる認証がされたかどうか。
- 4). リモートPCに表示される「接続通知ダイアログ」の接続を【許可する】ボタンが押されたかどうか。リモートPC側に接続通知ダイアログを表示するように指定した場合は、接続を許可するかどうかを決定できます。

セキュリティ条件の設定方法の詳細は、WinShareユーティリティのヘルプ（セキュリティ）の項目を参照してください。